

遠野市教育委員会の権限に属する  
事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価報告書  
(令和3年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク  
(平成27年7月10日制定)

令和5年2月  
遠野市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	6
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	12
1	ふるさと教育の推進	15
(1)	就学前教育の充実	15
(2)	学校教育の充実	18
(3)	高等学校への支援	34
2	生涯学習の推進	36
(1)	社会教育の充実	36
(2)	芸術文化活動の推進	39
3	ふるさとの文化の継承・創造	40
(1)	郷土文化の保存と活用	40
(2)	文化財の保護と継承	42
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	46
4	健康づくりの推進	49
(1)	健康づくり活動の推進	49
5	子育て支援の推進	52
(1)	少子化対策・子育て支援	52
IV	外部評価の実施	56

## 【参考資料】

資料 No. 2-1 第2次遠野市総合計画後期基本計画  
令和3年度 まちづくり指標 実績概要

資料 No. 2-2 第2次遠野市総合計画後期基本計画  
令和3年度 教育関連まちづくり指標実績

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
15	1	(1)	②	わらすっこの療育支援事業費	子育て支援課
16	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	子育て支援課
17	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	子育て支援課
17	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	子育て支援課
18	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
19	1	(2)	①	魅力ある学校づくり事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	令和・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
23	1	(2)	②	小学校管理費	総務企画部管財課
23	1	(2)	②	小学校屋内運動場長寿命化改修事業費	総務企画部管財課
24	1	(2)	②	中学校管理費	総務企画部管財課
25	1	(2)	②	小学校管理費（繰越明許費）	学校総務課
25	1	(2)	②	木の温もりに触れる環境づくり事業	学校総務課
26	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	学校総務課
27	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	学校総務課
27	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	学校総務課
28	1	(2)	②	中学校管理費（繰越明許費）	学校総務課
28	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	学校総務課
29	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	学校総務課
29	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	学校総務課
30	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【小中学校感染症予防対策消耗品購入】	学校総務課
30	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【スクール・サポート・スタッフ配置】	学校教育課
30	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費（繰越明許費） 【小中学校感染症予防・学習保障用備品購入】	学校総務課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金】	学校教育課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【就学援助費（小学校）】	学校総務課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【就学援助費（中学校）】	学校総務課
32	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
33	1	(2)	③	学校給食事業費（繰越明許費）	学校給食センター
34	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	学校教育課
35	1	(3)	①	育英事業費	学校総務課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
36	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	③	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	④	高齢者元気アップ活動事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	⑤	青少年健全育成活動事業費	生涯学習スポーツ課
39	2	(2)	①	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
40	3	(1)	①	博物館費	文化課
41	3	(1)	②	図書館費	文化課
42	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
43	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
43	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費（繰越明許費）	文化課
44	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
44	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
45	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
46	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	文化課
47	3	(3)	②	初稿本遠野物語発刊事業費	文化課
47	3	(3)	②	こども本の森構想推進事業費	こども本の森運営企画室
48	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	文化課
49	4	(1)	①	生涯スポーツ推進事業費	生涯学習スポーツ課
50	4	(1)	①	アスリートスポーツ推進事業費	生涯学習スポーツ課
50	4	(1)	②	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	③	ばすぼる推進事業費	学校給食センター
52	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	子育て支援課
53	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	子育て支援課
53	5	(1)	①	みんなで応援子育てのまち推進事業費	子育て支援課
54	5	(1)	①	ファミリー・サポート・センター推進事業費	子育て支援課
54	5	(1)	②	未来へつなぐこども家庭支援事業費	子育て支援課
55	5	(1)	②	児童館施設整備事業費	子育て支援課
55	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 （子育て施設訪問支援）	子育て支援課
55	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 （保育施設等感染症対策）	子育て支援課

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第1項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあっては、首長部局）が令和3年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第2期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から令和7年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

さらに附属資料として、第2次遠野市総合計画 後期基本計画のまちづくり指標に関する実績資料を添付しています。

## II 教育委員会の活動

### 1 遠野市教育委員会の構成

(令和5年1月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	佐々木 一人	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
委員	菊池 和子	令和4年11月26日から令和8年11月25日まで
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日から令和6年11月25日まで
委員	小玉 淳浩	令和4年11月28日から令和5年11月25日まで

### 2 教育委員会の会議の招集状況

令和3年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を2月、3月(計2回)、定例会と臨時会を合計14回招集・開催しました。

### 3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

#### (1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、令和3年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、22件です。

#### 【議案の性質別件数】

分類	項目	件数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関する事	7
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	3
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	3

5	職員の人事異動の方針を定めること	1
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	2
7	附属機関の委員の任免に関すること	3
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	—
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		22

#### 【令和3年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
<b>令和3年4月定例会（第1回 / 4月12日(月)開催）</b>				
18	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和3年4月12日	承認	7
19	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和3年4月12日	承認	7
<b>令和3年5月定例会（第2回 / 5月26日(水)開催）</b>				
20	遠野市教育委員会事務局職員等の地域貢献活動に係る営利企業等の従事許可に関する規程の制定の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和3年5月26日	承認	2
<b>令和3年6月定例会（第3回 / 6月24日(木)開催）</b>				
21	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	令和3年6月24日	可決	7
<b>令和3年7月定例会（第4回 / 7月29日(木)開催）</b>				
22	令和4年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	令和3年7月29日	可決	3
23	令和4年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	令和3年7月29日	可決	3

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和3年8月定例会（第5回 8月20日(金)開催）				
24	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）	令和3年 8月20日	可決	4
25	令和3年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	令和3年 8月20日	可決	9
令和3年9月定例会（第6回 /9月21日(火)開催）				
26	遠野市教育委員会に提出する書類の押印の省略等に関する規則の制定について	令和3年 9月21日	可決	2
27	遠野市教育委員会訓令で定める書類の押印の省略等に関する規程の制定について	令和3年 9月21日	可決	2
令和3年10月定例会（第7回 /10月22日(金)開催）				
28	遠野市立小中学校において使用する表簿の様式を定める規程の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 10月22日	可決	2
令和3年11月定例会（第8回 /11月18日(木)開催）				
29	令和4年度遠野市立小中学校教職員定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	令和3年 11月18日	可決	5
30	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	令和3年 11月18日	可決	10
令和3年12月定例会（第9回 /12月21日(火)開催） * 議案審議なし				
令和4年1月定例会（第10回 /1月21日(金)開催） * 議案審議なし				
令和4年2月定例会（第11回 /2月8日(火)開催）				
1	令和4年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	令和4年 2月8日	可決	1
2	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（遠野市学校林条例を廃止する条例の制定について）	令和4年 2月8日	可決	4
3	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（令和4年度遠野市一般会計予算）	令和4年 2月8日	可決	4
令和4年2月臨時会（第12回 /2月22日(火)開催）				
4	令和4年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	令和4年 2月22日	可決	6



議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和4年3月臨時会（第13回 / 3月17日(木)開催）				
5	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	令和4年 3月17日	可決	6
令和4年3月定例会（第14回 / 3月22日(火)開催）				
6	遠野市学校運営協議会規則の制定について	令和4年 3月22日	可決	2
7	遠野市教育委員会行政組織規則等の一部を改正する規則の制定について	令和4年 3月22日	可決	2
8	遠野市教育委員会専決代決規程等の一部を改正する訓令の制定について	令和4年 3月22日	可決	2
9	令和4年度学校給食費の額の決定に関し議決を求めることについて	令和4年 3月22日	可決	3

## (2) 総合教育会議

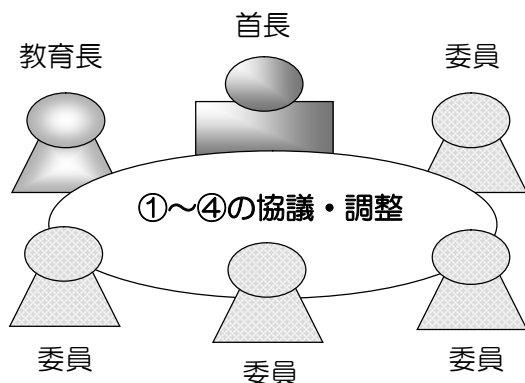
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

令和3年度は1回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 令和3年11月29日	(1) 小中学校における学力向上とGIGAスクールの活用について (2) コミュニティ・スクールの推進について (3) こども本の森構想の推進について (4) 子育て支援の推進について

### 【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。  
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・  
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・  
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整

- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、  
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、  
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

## 4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

### 【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会議名等
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
7月	本会議（臨時会）
8月	本会議、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会
11月	本会議、議員全員協議会、本会議（臨時会）
12月	本会議、予算等審査特別委員会
2月	本会議、議員全員協議会
3月	本会議、予算等審査特別委員会、本会議（臨時会）

### 【学校訪問】

月	行事名等
6月	学校懇談会（達曽部小学校）
8月	学校訪問（宮守小学校）
10月	実践交流会（土淵小学校） ブラッシュアップ授業改善研修会（遠野西中）
11月	実践交流会（遠野西中学校） 実践交流会（遠野小学校）
1月	学校訪問（土淵小学校）

### 【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席した主なものを列記）

月	行事名等
4月	令和3年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 小中学校転入教職員等着任式 新採用職員辞令交付式 小学校入学式、中学校入学式 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 遠野市校長会定期総会 市内小中学校長会議（第1回） 臨時小中学校長会議

月	行事名等
4月	小中学校副校長・事務担当者会議 教育委員会定例会（4月） 管内教育長会議 特別支援コーディネーター連絡会議 教育研究所運営委員会 遠野市奨学生選考委員会
5月	遠野市災害警戒本部 公開指定校連絡協議会 遠野市交通安全対策協議会常任委員会 就学指導委員会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 生徒指導推進協議会 教育委員会定例会（5月） 遠野市森林愛護少年団育成協議会総会 遠野市交通安全対策協議会総会
6月	遠野市議会議員全員協議会 遠野市校長会研修会 遠野市議会6月定例会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 遠野市中学校総合体育大会 こども本の森寄付採納式 東京2020オリンピック聖火リレー 生徒指導主事会議 市民センター運営協議会 教育委員会定例会（6月） 学校懇談会（達曽部小学校） 市内小中学校長会議（第2回） 遠野市地域教育協議会連絡会 遠野まつり臨時実行委員会 叙位・叙勲伝達式
7月	総合食育センター運営審議会 日本教育会岩手県支部遠野地区会総会・講演会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 中部地区教科書採択協議会 文化財保護審議会 子ども本の森オープンセレモニー 遠野市議会臨時会 教育委員会定例会（7月） 遠野市教育研究所全体研修会

月	行 事 名 等
8月	名誉市民等の墓参 遠野市文化財保護審議会 松崎野球スポーツ少年団優勝報告会 岩手県知事への統一要望 小中学校コミュニティ・スクール導入研修会 地域と学校の連携・協働推進研修会 遠野みらい創りカレッジ「イノベーションサマーカレッジ」発表会 遠野中学校サッカー部全国大会出場に係る市長報告 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式 特別支援教育支援員研修会 教育委員会定例会（8月） 市内小中学校長会議（第3回） 遠野市議会議員全員協議会 教職員初任者研修会 遠野市議会9月定例会
9月	遠野市議会9月定例会 遠野市中学校新人大会 教育委員定例会（9月） 佐々木喜善祭（墓参りのみ） 勤続功労者表彰及び永年勤続表彰式
10月	市制施行16周年記念功労者表彰式 遠野市いじめ問題対策委員会 遠野市少年消防クラブ防火野球大会 戦没者追悼平和祈念式 実践交流会（土淵小学校） JOCジュニアオリンピックカップ出場激励会 市内小中学校長会議（第4回） 遠野市就学指導委員会 遠野西中学校野球部新人大会優勝報告会 遠野市小学校音楽祭 教育委員会定例会（10月） 市長退任式 副市長退任式 新市長就任式 ブラッシュアップ授業改善研修会（遠野西中）

月	行 事 名 等
11月	管内教育長会議 実践交流会（遠野西中学校） 遠野聖光こども園100周年記念式典 遠野市生徒指導推進協議会 実践交流会（遠野小学校） 遠野地区中学校総合文化祭 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の外部評価会議 岩手県教職員表彰式 教育研究所運営委員会 岩手県学校教育ICT推進協議会 県教育委員会と市町村教育委員会の意見交換会 教育委員会定例会（11月） 学力向上研究部会 佐々木喜善賞表彰式 安藤忠雄先生講演会 遠野市議会議員全員協議会 遠野市議会臨時会 新副市長辞令交付式及び就任式 遠野西中学校野球部優勝報告会 遠野市総合教育会議（第1回） 遠野市議会12月定例会
12月	遠野市議会12月定例会 遠野市校長会研修会 遠野物語ファンタジー旗揚げ会 遠野文化遺産セッション 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 教育委員会定例会（12月） 災害対策本部訓練 少年少女空手道選手権大会
1月	仕事始めの式 遠野市民新年交賀会 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 遠野市就学指導委員会 遠野市教育研究所教育研究発表会 地域で子どもを育てる学習発表会 学校訪問（土淵小学校） 教育委員会定例会（1月） 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 遠野文化フォーラム

月	行 事 名 等
2月	管内教育長会議 遠野市校長会研究発表会 遠野市教育委員会定例会（2月） 県教育研究発表会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 学力対策向上会議 遠野市議会議員全員協議会 いじめ防止等対策委員会 教務主任会議 遠野市議会3月定例会 教育委員会臨時会 市内小中学校校長会議（第6回） 遠野市教育研究所運営委員会
3月	遠野市議会3月定例会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 市内中学校卒業証書授与式 市内小学校卒業証書授与式 遠野市教育委員会定例会（3月） 教職員退職・市外転出者への辞令交付式 遠野市議会臨時会 派遣者辞令交付式 退職者辞令交付式 教育長辞令交付式

### Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

令和3年度において、遠野市教育委員会は、

- ・第2次 遠野市総合計画 後期基本計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）
- ・第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画後期基本計画において教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

#### 【第2次遠野市総合計画 後期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 文化的資料の保存と活用 2 文化財の保護 3 歴史の継承と人づくり
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	



また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

## 【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

### ○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

## 【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、令和3年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「令和3年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	令和3年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位:円)
令和4年度事業所管課	令和4年度における当該事務事業を所管する課の名称を記載しています。		
事業内容	事務事業の概要、取組目標等を記載しています。		評価 ※
取組・成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)		

## 【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果(「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分)を、前表の「評価」欄(※)に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成されたとまではいえないと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合

※ まちづくり指標の設定がある場合は、その結果を評価欄に記載しています。

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	② 教育・保育の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>臨床心理士による出張相談・施設支援、療育教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）・幼児ことばの教室の運営、難聴児補聴器購入助成、日中一時支援事業及び放課後等デイサービス事業の利用者負担助成、特別支援学校スクールバス運行事業等を実施し、障がいがあり特別な支援を必要とする子どもとその保護者に対する福祉の向上を図った。</p> <p>また、保育所等を利用する3歳～5歳児に係る副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助、保育所12カ所の運営委託、認定こども園2カ所、幼稚園1カ所の運営費負担、延長保育や一時保育等の特別保育の実施、社会福祉法人への運営費補助を行い、就学前教育・保育環境の充実を図った。</p>
課題	<p>特別な支援が必要な児童とその保護者への支援体制の充実を図るため、療育教室、幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成等の事業を着実に推進するとともに、臨床心理士による出張心理相談の実施や小学校への就学に伴う円滑な接続について関係機関との連携を強化する。</p> <p>幼児教育・保育無償化に伴う副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助を着実に推進し、就学前教育と保育環境の充実を図る。</p>

事業費名	わらすっこの療育支援事業費	令和3年度 決算額	45,958,766円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>心身において発達支援が必要と認められる児童に対し、個別プログラムを取り入れた療育教室を開催する。</li> <li>発音等ことばの発達が気になる幼児に対し、就学前にことばの教室を開催する。</li> <li>軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入について一部助成を行う。</li> <li>障害児通所支援事業所に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給する。</li> <li>日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、その自己負担分を助成する。</li> <li>市外特別支援学校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図る。</li> </ol> <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>療育支援教室 のびっこ教室 10人 / ジャンプ教室 5人</li> <li>幼児ことばの教室 10人</li> <li>軽度・中等度難聴児補聴器助成 2件</li> <li>障害児通所給付費対象者延べ人数 254人</li> <li>日中一時支援事業等利用者負担助成 15人</li> <li>特別支援学校スクールバス利用 5人</li> </ol>	評価	達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>発達支援が必要である児童に対し、個別プログラム及び臨床心理士からの助言により療育教室を開催し、個々の特性に応じた適切な支援及び指導を行うとともに、その保護者への子育て支援を行った。</li> <li>発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して、幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。</li> <li>軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入費の一部を助成し、対象児童の家庭及び学校生活における聞き取り能力の向上に寄与した。</li> <li>放課後等デイサービス事業者に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費</li> </ol>			

取組・成果	<p>を支給した。</p> <p>5 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、利用者自己負担分を助成し経済的負担を軽減した。</p> <p>6 花巻清風支援学校本校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の送迎に係る負担軽減に寄与した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 療育支援教室 のびっこ教室 10人 / ジャンプ教室 3人</p> <p>2 幼児ことばの教室 8人</p> <p>3 軽度・中等度難聴児補聴器助成 1件</p> <p>4 障害児通所給付費対象者延べ人数 331人</p> <p>5 日中一時支援事業等利用者負担助成 19人</p> <p>6 特別支援学校スクールバス利用 7人</p>
-------	--

事業費名	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	令和3年度 決算額	948,983,375円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>1 時代の流れとともにライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育所の利用を希望する子育て世代のための保育の受け皿として市内12か所の保育所と2か所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、もって児童の健全な育成を図ることを目的とする。</p> <p>2 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、保護者負担となる副食費の助成を行い、保護者の経済的負担と保育施設職員の業務負担の軽減を図る。</p> <p>3 1号認定の預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の給付を行う。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>認可保育所定員 650人</p> <p>認定こども園定員 164人</p> <p>合計 814人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 市内居住者が利用する保育所や認定こども園等の教育・保育施設に対して運営費負担を行い、保護者と子どもが安心できる保育環境を提供し、児童の健全な育成に努めた。</p> <p><b>【年度末市内保育施設入所児童数（定員に対する充足率）】</b></p> <p>遠野 77人（85.6%）、神明 47人（94.0%）、綾織 41人（82.0%）、岩滝 21人（105.0%）、附馬牛31人（103.3%）、白岩 93人（93.0%）、松崎 46人（92.0%）、土淵 56人（93.3%）、青笹 89人（89.0%）、上郷 47人（94.0%）、宮守 45人（69.2%）、達曾部26人（86.7%）、鱒沢 10人（50.0%）、聖光 88人（88.9%） 合計 717人（89.7%）</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化制度において国の免除対象とならない3～5歳児の副食費（おかず代・おやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と保育施設職員の事務負担の軽減を図った。</p> <p>3 預かり保育事業を利用する児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して利用料を補助し、保護者の負担を軽減する事業だが、令和3年度の利用はなかった。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>[年齢別入所児童数] 合計 717人</p> <p>0歳児 86人、1歳児103人</p> <p>2歳児133人、3歳児126人</p> <p>4歳児123人、5歳児146人</p> <p>[副食費助成対象児童数] 延べ 3,450人</p> <p>[施設等利用給付数] 0人</p>			

事業費名	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	令和3年度 決算額	62,864,072円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>地域の实情や子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」、「保育所地域活動事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所の円滑な運営を図るため、社会福祉法人事業所に対し運営費等を補助する。</p> <p>また、従業員のために事業所内に保育施設を設置する事業者に対して、管理運営に要する費用を助成し、保育環境の充実を図る。</p> <p><b>【計画値】</b>          特別保育事業 4事業          地域子育て支援センター 1か所          運営費補助 1件          業務効率化補助 1件          企業内託児保育施設助成 1件</p>		評価	達成
取組・成果	<p>1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施し子育て環境の充実を図った。</p> <p>(1) 特別保育事業 6,428,720円          (2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ人数1,733人） 7,838,352円          (3) 令和2年度子ども・子育て支援交付金返還金 935,000円</p> <p>2 社会福祉法人遠野市保育協会に対して運営費補助金を交付し、保育の安定的な運営を推進した。 43,697,000円</p> <p>3 社会福祉法人遠野市保育協会に対して業務効率化補助金を交付し、効率的な運営を推進した。 3,465,000円</p> <p>4 企業内託児保育施設設置者に対して管理運営に要する経費の一部を助成し、職場の子育て環境の充実を図った。 500,000円</p> <p><b>【実績値】</b>          特別保育事業 4事業          地域子育て支援センター 1か所          運営費補助 1件          業務効率化補助 1件          企業内託児保育施設助成 1件</p>			

事業費名	幼稚園応援事業費	令和3年度 決算額	31,473,246円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>市内で私立幼稚園を運営する法人に対し、幼児教育の振興及び円滑な経営を図るため運営費の給付を行うとともに、幼児教育・保育の無償化に併せ、保護者負担となる副食費の助成を行い、保護者の経済的な負担軽減を図る。</p> <p><b>【計画値】</b>          市内私立幼稚園 1園          幼稚園定員 35人</p>		評価	達成
取組・成果	<p>1 私立幼稚園の運営費を負担することによって、充実した幼児教育環境の提供及び園の円滑な運営を支援した。</p> <p>2 国の免除対象とならない満3歳～5歳児の副食費（おかず代及びおやつ代）を助成し、保護者の経済的な負担を軽減した。</p> <p>3 預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の助成を行った。</p> <p><b>【実績値】</b>          [年齢別入所児童数] 満3歳児6人、3歳児12人、4歳児6人、5歳児8人、合計32人          [副食費助成児童数] 延べ 242人 [施設等利用給付] 16人</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	① 教育内容の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症が教育活動にも大きな影響を及ぼし、例年行われてきた学校行事や地域行事についても延期や中止、縮小を余儀なくされたが、学校、保護者、関係機関等が連携、協力した教育活動の継続により学びの保障に取り組んできた。</p> <p>このような状況の中、遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成 ～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～」の目標達成に向け、次の5つの項目（①学校経営の質的向上、②確かな学力の育成、③豊かな人間性の育成、④健やかな体の育成、⑤特別支援教育の充実）に重点を置き施策の展開を図ってきた。</p> <p>確かな学力の育成では、教育研究所が平成25年度から実施している各中学校区の小中学校が同じ視点で授業改善に取り組み、その成果と課題を共有するという小中連携による第2次学力向上取組（R2～R4）も後期2年目を迎え、学力検査の結果活用による個の能力に応じた指導の充実や、教職員の指導力向上による学力の向上に努めてきた。</p> <p>また、児童生徒に一人一台のタブレットパソコンを配備し、本格的な運用が開始されたことから、オンライン学習等を促進し、協働的な学びの充実を図るとともに、端末の持ち帰りによる家庭学習の充実を図ることで、学習内容の確実な定着につなげ、児童生徒が自ら学習を調整し主体的に学ぶことができるよう、個別最適な学びの実現に努めた。</p>
課題	<p>「確かな学力の育成」のため、学力検査等の分析や日常における的確な実態把握により、学校規模や習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、家庭学習の習慣化を図るため、学習時間の確保と指導の工夫に努めていく必要がある。</p> <p>遠野市総合計画後期基本計画の「まちづくり指標」としている、全国標準学力検査において、将来的に小中学校とも学力偏差値「50」を超えることを目指すとともに、遠野市教育研究所の学力向上取組及びGIGAスクール構想に基づくICT機器の効果的な活用による個別最適な学びの充実を図り、学習の質を一層高める授業改善を推進することで、確かな学力の育成を図っていく必要がある。</p>

事業費名	体育・文化行事奨励費	令和3年度 決算額	5,322,130円
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課		
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知・徳」に位置付けて実施する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよさ、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して、言語能力を養い豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊する。</li> <li>・文化創造活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催する。</li> <li>・体育活動及び文化活動の振興を通して市内小中学校の児童生徒の健全な育成を図る事業を行う団体に対して補助金を交付する。</li> <li>・地方公共団体等が主催する各種大会（県、東北、全国）に児童生徒が出場するために要する経費の一部について助成を行う。</li> </ul> <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒作品展の開催 1回</li> <li>2 児童生徒文集の発刊 250冊</li> <li>3 事業補助団体 4団体</li> </ol>	評価	概ね達成

取組・成果	<p>小中学校児童生徒文集「遠野」の発刊や小中学校児童生徒作品展の文化事業を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向い努力する心と向上心を養う取組ができた。</p> <p>市立小・中学校の児童生徒を対象とした体育活動及び文化活動の事業を実施する団体に対し、補助金を交付することにより、児童生徒の健全な育成を図った。</p> <p>なお、市内小学校水泳記録や陸上記録会、音楽祭、地区中学校総合体育大会や総合文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施することができた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 児童生徒作品展の開催 1回  2 児童生徒文集の発刊 230冊  3 事業補助団体 4団体</p>
-------	---

事業費名	魅力ある学校づくり事業費	令和3年度 決算額	1,445,656円
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課		
事業内容	<p>「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。</p> <p>1 魅力ある学校づくり事業  児童生徒一人ひとりの学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。</p> <p>2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業  心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるこのころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、その他OB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>1 実施学校数 14校  2 実施校数 小学校6校  実施回数 小学校7回</p>	評価	達成
取組・成果	<p>1 魅力ある学校づくり事業  市内各小中学校でそれぞれ企画・立案した事業計画を基に、地域の特性や人材を生かした特色ある教育活動を展開することにより、学ぶことの楽しさや地域と学校に魅力を感じる児童生徒を育成することができた。</p> <p>事業を通じて、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで、児童生徒のふるさとへの愛着と誇りを持つ心が育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となった。</p> <p>また、キャリア教育部会と連携を図り、地域教材による学びを系統化、体系化することにより、子どもたちのキャリア形成につなげている。</p> <p>2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業  各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来について考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、夢先生を各学校へ派遣して実施する対面式から、学校と日本サッカー協会を「WEB会議システム」で結んで行うオンライン方式により実施した。</p> <p>夢や目標を持つこと、夢に向かって努力することの大切さや相手を思いやる心を事業を通じて学ぶことができた。</p> <p>児童及び担任の先生を対象に実施したアンケートからも夢や目標に向かって、前向きな気持ちを持つ児童が増えている結果が見受けられた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 実施学校数 14校  2 実施校数 小学校6校  実施回数 小学校7回</p>		

事業費名	令和・南部藩寺子屋交流事業費	令和3年度 決算額	0円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>昭和62年に「たくましく生活を切り開く遠野人」の育成を目指して事業を開始し、平成18年からは平成18年2月16日に設立された「平成・南部藩」事業の一つとして事業を継続している。「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する。</p> <p>根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じて、コミュニケーション能力等を高め、リーダー性を向上させるとともに、「遠野市」を学び伝え、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野市」を振り返り、郷土の歴史や自然のよさについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を目指していく。</p> <p>楽しいだけの交流で終わることなく、学んだことをこれからの学校生活で発揮できる交流内容とする。</p>		評価	未達成
取組・成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、八戸市教育委員会と協議の上、事業を中止とした。			

事業費名	特別支援教育推進事業費	令和3年度 決算額	23,272,412円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。</p> <p>市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>ことばの指導が必要な児童のために学習指導講師を配置し、巡回指導を実施する。</p> <p><b>【計画値】</b>          特別支援教育支援員の配置 19人          ・小学校11校 16人 ・中学校3校 3人          学習指導講師の配置 1人          ・巡回指導数7校 17人</p>		評価	達成
取組・成果	<p>特別支援教育支援員を支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に配置することにより、児童生徒の学習や生活面において、個々の特性に応じた適切な指導と必要な支援を行うことで、学校生活へのより良い適応が図られるとともに、インクルーシブ教育の充実を図ることができた。</p> <p>言語検査の結果により、ことばの指導が必要な児童を対象として学習指導講師の巡回指導による、適切な「ことば」の指導が実施され、児童7人がことばの教室を退級することができた。</p> <p>補聴器や人工内耳を装用しても騒音下での聞き取りが難しい児童がいる学校にロジャータッチスクリーンマイク（補聴援助システム）を貸与することにより、安心して授業を受けることができる環境づくりに努めた。</p> <p><b>【実績値】</b>          特別支援教育支援員の配置 19人          ・小学校11校 16人 ・中学校3校 3人          学習指導講師の配置 1人          ・巡回指導数7校 17人</p>			



事業費名	学力向上対策事業費	令和3年度 決算額	19,337,041円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課、学校総務課			
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に位置付けて実施する事業。</p> <p>1 学力向上対策 市内小中学生を対象として、GIGAスクール構想により導入された学習用パーソナルコンピュータ等の効果的な活用や標準学力検査（NRT）及び知能検査等の諸調査の分析結果を活用し、より適切な指導を進め学力向上を図る。 中学校区単位で小中学校が連携し、研究及び研修の充実を図るとともに指導主事等の学校訪問による授業力の向上に努め、児童生徒の確かな学力の育成を図る。</p> <p>2 教育相談 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置し、様々な理由で学校に通うことができない児童生徒を対象に、教育相談や学習指導を行う適応指導教室を開設する。</p> <p>3 ICT活用支援 GIGAスクール構想により導入された端末等について、各学校にアドバイザーを派遣して教職員に対する導入初期のサポートを行うほか、情報セキュリティ対策に係る研修を実施する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査及び知能検査の実施 1回</li> <li>・教育相談員の配置 4人</li> <li>・教育研究所全体研修会及び発表会の開催 2回</li> <li>・授業実践交流会の実施 3校で各1回</li> <li>・アドバイザー派遣回数 336回</li> <li>・情報セキュリティ研修 2回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 標準学力検査等の分析結果を活用し、児童生徒個々の実態に応じた指導による授業改善を図り、教員の授業力向上に取り組んだ。 中学校区毎に設置する学力向上研究員部会により、小中学校の更なる連携を推進し、義務教育9年間で踏まえた指導の充実及び児童生徒の学力向上を図った。 まちづくり指標に設定している全国標準学力検査偏差値において、小中学校とも目標値を概ね達成することができた。</p> <p>2 遠野市教育研究所及び各中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めるとともに、中学校の教員への支援を行った。 また、適応指導教室を設置し、登校が困難な生徒に対して学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の影響で当初計画から回数は減ったものの、小中学校にアドバイザーを派遣し、操作方法支援のほか先進活用事例の共有を図った。 また情報セキュリティ研修について、感染症対策のため対面方式から自席での動画視聴による研修方法へと変更し、教職員のセキュリティ意識の向上を図った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</li> <li>教育相談員の配置 4人</li> <li>教育研究所全体研修会及び発表会の開催 2回</li> <li>授業実践交流会の実施 3校で各1回</li> <li>アドバイザー派遣回数 210回</li> <li>情報セキュリティ研修 全校に動画配信</li> </ul>			

事業費名	特定教科集中対策事業費	令和3年度 決算額	21,737,866円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知」に関する事業。</p> <p>1 特定教科学習支援員の配置 市内中学校に、特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科について、ティーム・ティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上を図る。</p> <p>2 外国語教育の充実 小中学校における外国語教育の充実及びグローバル化に対応した教育施策の一環として外国語指導助手を配置することにより、生きた英語に接する機会を提供し、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の基礎を育む。 新学習指導要領により、英語4技能を総合的に育成できるよう小学校からの外国語教育に係るティーム・ティーチングの充実が図られることから、英語による発信力の育成の強化を図る。 遠野市立中学校に在籍する生徒を対象に、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲の向上を図るとともに外国語教育の充実の強化を図る。</p> <p>【計画値】 特定教科学習支援員の配置 4人 外国語指導助手派遣学校数 14校 外国語指導助手派遣回数 549回 実用英語検定受験者（中学3年生） 235人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 教育委員会が指定する特定教科の数学科について、特定教科学習支援員を学校規模に応じて配置し、数学の授業においてティーム・ティーチングや家庭学習支援を行うことで、生徒一人一人の実態に応じた指導・支援を実施した。</p> <p>2 外国語教育については、教員の確保や指導力向上だけでは十分対応することができない部分に外国語指導助手を活用し、外国語の授業に係る取組の充実を図ることができた。 中学校区を中心に外国語指導助手を配置としたことにより、小中学校の外国語教育をつなぐ役割を果たし、児童生徒が安心してコミュニケーション活動に取り組めるようになった。 「読む、書く、聞く、話す」の英語の4技能をバランスよく伸ばし生きた英語を身に付けることができるよう、英語検定合格に向けた対策講座の実施や受験費用を補助することにより、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲及び英語力の向上を図ることができた。</p> <p>【実績値】 特定教科学習支援員の配置 4人 外国語指導助手派遣学校数 14校 外国語指導助手派遣回数 524回 実用英語検定受験者（中学3年生） 214人</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>学校施設点検等に基づいた施設の維持管理や小学校職員室への空調設備設置、小友小学校及び達曽部小学校の屋内運動場長寿命化改修工事に向けた実施設計を行うなど、安心安全な学校施設環境の整備に努めた。</p> <p>また、老朽化したスクールバス1台を更新し、児童生徒の通学の安全確保を図るとともに、児童生徒がより質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。</p> <p>さらに、スクールバス等の運行による通学対策の実施、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給、特別支援教育への支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。</p>
課題	<p>建築後相当の年数が経過している学校施設等については、引き続き施設の維持補修を行うとともに、学校施設長寿命化計画に基づいた改修・長寿命化を進め、児童・生徒が安心安全な学校生活を送ることができるように教育環境の整備を行う必要がある。</p>

事業費名	小学校管理費	令和3年度 決算額	115,001,067円	
令和4年度 事業所管課	総務企画部 管財課			
事業内容	<p>1 児童が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内11校の学校施設の適正な管理を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 設備点検等委託 22件</p> <p>2 職員室空調設備設置工事ほか 4件</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の修繕箇所及び学校の修繕要望等を確認し、予算の範囲内で着実な施設修繕を行った。</p> <p>2 施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し、施設の適正な管理を行った。</p> <p>3 職員室空調設備設置工事等を行い、快適な教育環境の整備を図った。</p> <p>【実績値（学校施設の主な維持管理）】</p> <p>1 修繕（遠野小学校暖房パネルヒーター修繕ほか41件） 6,790,011円</p> <p>2 設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか25件） 14,544,530円</p> <p>3 工事（職員室空調設備設置工事ほか6件） 13,174,810円</p>			

事業費名	小学校屋内運動場長寿命化改修事業費	令和3年度 決算額	10,780,000円	
令和4年度 事業所管課	総務企画部 管財課			
事業内容	<p>老朽化した小学校屋内運動場の長寿命化改修を行い、児童の安心・安全な教育環境を整備し、心身の健康及び学力の向上を図る。</p> <p>また、工事の進捗状況に併せて必要な備品を整備する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 小友小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場長寿命化改修実施設計業務</li> <li>・屋内運動場長寿命化改修事業</li> <li>・屋内運動場備品購入</li> </ul> <p>2 達曽部小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場長寿命化改修実施設計業務</li> </ul>	評価	概ね達成	

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場長寿命化改修事業</li> <li>・屋内運動場備品購入</li> </ul>		
取組・成果	<p>省エネ及びバリアフリーに配慮し、学校の要望を可能な限り取り入れた使用しやすい設計とした。</p> <p>1 小友小学校屋内運動場長寿命化改修実施設計業務 期 間 令和3年10月12日から令和4年2月28日まで 委託料 5,720,000円</p> <p>2 達曽部小学校屋内運動場長寿命化改修実施設計業務 期 間 令和3年7月9日から令和3年12月10日まで 委託料 5,060,000円</p> <p>年度内の工事発注及び備品発注が困難であることから、事業費243,689,000円を令和4年度に繰り越した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友小学校 屋内運動場長寿命化改修実施設計業務</li> <li>・達曽部小学校 屋内運動場長寿命化改修実施設計業務</li> </ul>		

事業費名	中学校管理費	令和3年度 決算額	59,156,115円	
令和4年度 事業所管課	総務企画部 管財課			
事業内容	<p>1 生徒が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内3校の学校施設の適正な管理を行う。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>1 設備点検等委託 20件</p> <p>2 遠野東中学校排煙窓雨漏修繕工事ほか 1件</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の修繕箇所及び学校の修繕要望等を確認し、予算の範囲内で着実な施設修繕を行った。</p> <p>2 施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し、施設の適正な管理を行った。</p> <p>3 遠野東中学校排煙窓雨漏修繕工事や遠野西中学校屋外トイレ整備工事等を行い、快適な教育環境の整備を図った。</p> <p><b>【実績値（学校施設の主な維持管理）】</b></p> <p>1 修 繕（遠野西中学校プールろ過装置修繕ほか11件） 1,396,714円</p> <p>2 設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか20件） 5,141,308円</p> <p>3 工 事（遠野東中学校排煙窓雨漏修繕工事ほか6件） 16,453,250円</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>児童生徒がより質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品の充実を図るとともに老朽化した児童用の木製机椅子の更新を行った。また、GIGAスクール構想により導入した一人一台端末の有効活用を図るため、ドリルソフト等の電子教材の導入について検討を進めた。</p> <p>安心安全な学校環境となるよう、学校敷地内の老木や高木等危険性の高い樹木の伐採を行い、学校敷地内の安全対策を行った。</p> <p>そのほか、スクールバス等の運行による通学対策の実施、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給や特別支援教育への支援を行い、児童生徒の学びを保証し義務教育の円滑な実施を図った。</p>
課題	GIGAスクールにより整備した環境の利活用を一層進めるとともに、使用する教職員に対し研修等のフォローを行うなど負担を軽減する必要がある。

事業費名	小学校管理費（繰越明許費）	令和3年度 決算額	1,959,628円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>学校敷地にある倒木などの危険性の高い樹木及び学校運営や近隣の支障となっている樹木のうち、学校用務員において対応が難しいものについて計画的に伐採等を行う。</p> <p><b>【計画値】</b> 支障木伐採対象校 2校 ・綾織小学校 6本 ・宮守小学校 11本</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>対象校2校の敷地内にある危険樹木計17本（ドイツトウヒ6本、桜11本）について伐採を行い、安全安心な環境を整備した。</p> <p>なお、伐採にあたっては学校報等を通じて周知を行い、地域との合意形成を図りながら事業を進めた。</p> <p><b>【実績値】</b> 支障木伐採対象校 2校 ・綾織小学校 6本 ・宮守小学校 11本</p>			

事業費名	木の温もりに触れる環境づくり事業費	令和3年度 決算額	20,578,800円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>森林環境譲与税を活用し、老朽化の進んでいる児童用の木製机椅子の計画的な更新を行い、木の温もりを感じながら学習活動を行うことができる環境を整備する。</p> <p><b>【計画値】</b> 整備対象校 4校 ・遠野小学校 53セット ・青笹小学校 149セット ・宮守小学校 95セット ・達曽部小学校 55セット</p>	評価	達成	

取組・成果	<p>4校で合計 352セットの児童用木製机椅子の更新を行った。遠野小学校は平成29年度から継続整備の最終年、青笹小学校、宮守小学校及び達曽部小学校は全児童分一括整備であったことから、当該4校の老朽化した机椅子の更新が完了し、木の温もりが感じられる新しい机椅子で授業を行うことができる環境を整備した。</p> <p>机椅子の仕様検討にあたっては学校用務員と打ち合わせを行い、使い勝手や日常的なメンテナンスについて可能な限り学校現場の意見を取り入れた。</p> <p><b>【実績値】</b>  整備対象校 4校  ・遠野小学校 53セット  ・青笹小学校 149セット  ・宮守小学校 95セット  ・達曽部小学校 55セット</p>
-------	---

事業費名	通学対策費（小学校）	令和3年度 決算額	28,526,029円		
令和4年度 事業所管課	総務企画部 管財課 教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曽部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバス等を運行する。</li> <li>・路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配布する。</li> <li>・青笹小に通学する瀬内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。</li> <li>・遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に通学費の助成を行う。</li> <li>・教育課程における児童移動のため、スクールバスの特別運行を行う。</li> <li>・スクールバスを計画的に更新し、児童の安全な通学に資する。</li> </ul> <p><b>【計画値】</b>  ・スクールバス等の運行（バス5台、ワゴン2台、タクシー1台）  ・遠距離通学費補助金 支給見込児童数 20人  ・スクールバス特別運行  ・見込みのべ台数 335台  ・スクールバス更新 1台</p>	評価	達成		
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらのスクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>また、スクールバス等の利用対象とならない遠距離通学児童全員に対し遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <p>達曽部小学校で運行するスクールバス1台を更新し、安全な通学手段を確保した。</p> <p><b>【実績値】</b>  ・スクールバス等の運行（バス5台、ワゴン2台、タクシー1台）  ・遠距離通学費補助金支給児童数 13人  ・スクールバス特別運行のべ台数 224台  ・スクールバス更新 1台</p>				

事業費名	教材整備費（小学校）	令和3年度 決算額	56,097,735円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入し、教育環境の整備を行う。特に、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を国補助を活用して整備する。また、児童及び教職員に貸与する学習用パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、ICTの活用による個別最適化された学びの推進を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材備品購入 50品目</li> <li>・図書購入 1,100冊</li> <li>・理科・算数教材備品整備 4校</li> <li>・パーソナルコンピュータ借上げ 1,742台</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>教育活動に必要なとなる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入を行ったほか、国補助を活用して理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>一人一台の学習用パーソナルコンピュータ等の情報機器の借上げを行うとともに、国の補正予算による補助を活用してタブレット端末用スタンド、プロジェクター等の周辺機器を整備し、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材備品購入 61品目</li> <li>・図書購入 1,309冊</li> <li>・理科・算数教材備品整備 4校</li> <li>・パーソナルコンピュータ借上げ 1,742台</li> </ul>			

事業費名	就学援助費（小学校）	令和3年度 決算額	17,024,168円																																								
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課																																										
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費等を支給し義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、学用品等購入費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、経済的負担を軽減する。</p> <p>【計画値】</p> <p>認定見込児童数 ・就学援助費224人 ・特別支援教育就学奨励費 30人</p>	評価	達成																																								
取組・成果	<p>経済的理由により就学援助の認定を受けた児童の保護者、または特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【就学援助費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（212人）</td> <td>2,418,071円</td> <td>通学用品費（185人）</td> <td>412,381円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（212人）</td> <td>385,494円</td> <td>新入学学用品費（14人）</td> <td>714,840円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（29人）</td> <td>620,622円</td> <td>通学費（5人）</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（4人）</td> <td>1,110円</td> <td>P T A会費（155人）</td> <td>501,700円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（27人）</td> <td>281,544円</td> <td>学校病医療費（50人）</td> <td>512,736円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（34人）</td> <td>99,210円</td> <td>学校給食費（209人）</td> <td>8,733,954円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校入学前（13人）</td> <td>663,780円</td> <td>中学校入学前（16人）</td> <td>960,000円</td> </tr> </table> <p>【特別支援教育就学奨励費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品等購入費（22人）</td> <td>126,662円</td> <td>校外活動費（12人）</td> <td>5,294円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（7人）</td> <td>75,530円</td> <td>学校給食費（22人）</td> <td>471,240円</td> </tr> </table> <p>【実績値】</p> <p>認定児童数 ・就学援助費 214人 ・特別支援教育就学奨励費 22人</p>	学用品費（212人）	2,418,071円	通学用品費（185人）	412,381円	校外活動費（212人）	385,494円	新入学学用品費（14人）	714,840円	修学旅行費（29人）	620,622円	通学費（5人）	40,000円	クラブ活動費（4人）	1,110円	P T A会費（155人）	501,700円	卒業アルバム代（27人）	281,544円	学校病医療費（50人）	512,736円	学校病医療通院費（34人）	99,210円	学校給食費（209人）	8,733,954円	新入学学用品費				小学校入学前（13人）	663,780円	中学校入学前（16人）	960,000円	学用品等購入費（22人）	126,662円	校外活動費（12人）	5,294円	修学旅行費（7人）	75,530円	学校給食費（22人）	471,240円		
学用品費（212人）	2,418,071円	通学用品費（185人）	412,381円																																								
校外活動費（212人）	385,494円	新入学学用品費（14人）	714,840円																																								
修学旅行費（29人）	620,622円	通学費（5人）	40,000円																																								
クラブ活動費（4人）	1,110円	P T A会費（155人）	501,700円																																								
卒業アルバム代（27人）	281,544円	学校病医療費（50人）	512,736円																																								
学校病医療通院費（34人）	99,210円	学校給食費（209人）	8,733,954円																																								
新入学学用品費																																											
小学校入学前（13人）	663,780円	中学校入学前（16人）	960,000円																																								
学用品等購入費（22人）	126,662円	校外活動費（12人）	5,294円																																								
修学旅行費（7人）	75,530円	学校給食費（22人）	471,240円																																								

事業費名	中学校管理費（繰越明許費）	令和3年度 決算額	966,372円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>学校敷地にある倒木などの危険性の高い樹木及び学校運営や近隣の支障となっている樹木のうち、学校用務員において対応が難しいものについて計画的に伐採等を行う。</p> <p><b>【計画値】</b> 支障木伐採対象校 1校 ・遠野西中学校 14本</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>遠野西中学校の敷地内にある危険樹木計14本（ドイツトウヒ8本、アカマツ6本）について伐採を行い、安全安心な環境を整備した。</p> <p>なお、伐採にあたっては学校報等を通じて周知を行い、地域との合意形成を図りながら事業を進めた。</p> <p><b>【実績値】</b> 支障木伐採対象校 1校 ・遠野西中学校 14本</p>			

事業費名	通学対策費（中学校）	令和3年度 決算額	51,898,106円	
令和4年度 事業所管課	総務企画部 管財課 教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠距離から通学する以下の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野中のうち綾織小及び附馬牛小の区域の生徒</li> <li>遠野東中のうち土淵小及び上郷小の区域の生徒</li> <li>遠野西中のうち小友小、達曾部小及び鱒沢小の区域の生徒</li> </ul> </li> <li>教育課程における生徒の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。</li> </ul> <p><b>【計画値】</b> ・スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台） ・スクールバス特別運行 見込のべ台数 270台</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらのスクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い有効活用を図った。</p> <p><b>【実績値】</b> ・スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台） ・スクールバス特別運行 のべ台数 154台</p>			



事業費名	教材整備費（中学校）	令和3年度 決算額	21,917,406円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入し、教育環境の整備を行う。特に、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を国補助を活用して整備する。また、生徒及び教職員に貸与する学習用パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、ICTの活用による個別最適化された学びの推進を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材備品購入 24品目</li> <li>図書購入 600冊</li> <li>理科・数学教材備品整備 3校</li> <li>パーソナルコンピュータ借上げ 888台</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入を行ったほか、国補助を活用して理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>一人一台の学習用パーソナルコンピュータ等の情報機器の借上げを行うとともに、国の補正予算による補助を活用してワイヤレスディスプレイアダプター、スピーカーフォン等の周辺機器を整備し、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材備品購入 19品目</li> <li>図書購入 607冊</li> <li>理科・数学教材備品整備 3校</li> <li>パーソナルコンピュータ借上げ 888台</li> </ul>			

事業費名	就学援助費（中学校）	令和3年度 決算額	13,504,017円																																				
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課																																						
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費等を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。また、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、学用品等購入費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、経済的負担を軽減する。</p> <p>【計画値】</p> <p>認定見込生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学援助費 112人</li> <li>特別支援教育就学奨励費 16人</li> </ul>	評価	達成																																				
取組・成果	<p>経済的理由により就学援助の認定を受けた生徒の保護者、または特別支援学級に就学する生徒の保護者に対し、費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【就学援助費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（102人）</td> <td>2,286,258円</td> <td>通学用品費（69人）</td> <td>153,601円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（102人）</td> <td>232,346円</td> <td>新入学学用品費（13人）</td> <td>780,000円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（35人）</td> <td>1,384,457円</td> <td>クラブ活動費（100人）</td> <td>1,841,831円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（102人）</td> <td>222,000円</td> <td>P T A会費（93人）</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（39人）</td> <td>343,200円</td> <td>学校病医療費（18人）</td> <td>317,390円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（6人）</td> <td>17,520円</td> <td>学校給食費（102人）</td> <td>4,984,250円</td> </tr> </table> <p>【特別支援教育就学奨励費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品等購入費（13人）</td> <td>134,185円</td> <td>新入学学用品費（5人）</td> <td>122,390円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（5人）</td> <td>6,604円</td> <td>修学旅行費（4人）</td> <td>112,010円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（13人）</td> <td>325,975円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【実績値】</p> <p>認定生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学援助費 103人</li> <li>特別支援教育就学奨励費 13人</li> </ul>	学用品費（102人）	2,286,258円	通学用品費（69人）	153,601円	校外活動費（102人）	232,346円	新入学学用品費（13人）	780,000円	修学旅行費（35人）	1,384,457円	クラブ活動費（100人）	1,841,831円	生徒会費（102人）	222,000円	P T A会費（93人）	240,000円	卒業アルバム代（39人）	343,200円	学校病医療費（18人）	317,390円	学校病医療通院費（6人）	17,520円	学校給食費（102人）	4,984,250円	学用品等購入費（13人）	134,185円	新入学学用品費（5人）	122,390円	校外活動費（5人）	6,604円	修学旅行費（4人）	112,010円	学校給食費（13人）	325,975円				
学用品費（102人）	2,286,258円	通学用品費（69人）	153,601円																																				
校外活動費（102人）	232,346円	新入学学用品費（13人）	780,000円																																				
修学旅行費（35人）	1,384,457円	クラブ活動費（100人）	1,841,831円																																				
生徒会費（102人）	222,000円	P T A会費（93人）	240,000円																																				
卒業アルバム代（39人）	343,200円	学校病医療費（18人）	317,390円																																				
学校病医療通院費（6人）	17,520円	学校給食費（102人）	4,984,250円																																				
学用品等購入費（13人）	134,185円	新入学学用品費（5人）	122,390円																																				
校外活動費（5人）	6,604円	修学旅行費（4人）	112,010円																																				
学校給食費（13人）	325,975円																																						

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【小中学校感染症予防対策消耗品購入】	令和3年度 決算額	5,520,439円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	感染症対策を徹底しながら学校活動を継続するため、必要となる消毒用アルコール、ペーパータオルなどの消耗品の購入を行う。 【計画値】 消耗品購入	評価	達成	
取組・成果	各学校に予算を配当し、学校が必要とする時期に消耗品を購入することで、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続した。 【実績値】 消耗品購入			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【スクール・サポート・スタッフ配置】	令和3年度 決算額	21,701,465円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	消毒作業等、新型コロナウイルス感染症予防対策を行うとともに、新型コロナウイルスの影響により増加している教員の業務を支援し、教員が一層児童生徒への指導等に注力できる体制を整備するため、小学校及び中学校にスクール・サポート・スタッフを配置する。 【計画値】 小中学校 14校	評価	達成	
取組・成果	市内における新型コロナウイルスの陽性者数の増加に伴い、学校運営に大きな影響があったが、各小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置したことにより、教師の負担軽減及び感染症対策の徹底を図ることができた。 【実績値】 小中学校 13校			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費（繰越明許費）【小中学校感染症予防・学習保障用備品購入】	令和3年度 決算額	11,815,288円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にし、学校における感染症対策を徹底しながら円滑に教育活動を継続するため、令和2年度から繰越した国の補助を活用して必要となる備品の購入を行う。 【計画値】 備品購入 294品	評価	達成	
取組・成果	各学校が必要とする備品の購入を行い、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続する環境整備を行った。 【実績値】 備品購入 221品			

事業費名	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金】	令和3年度 決算額	389,799円		
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課				
事業内容	小学校及び中学校において、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行を中止、延期又は行程を変更したことにより生じたキャンセル料等追加的費用について、補助金を交付することにより保護者の経済的な負担軽減を図る。 【計画値】 小中学校 1校	評価	達成		
取組・成果	修学旅行の延期又は行程変更によりキャンセル料等追加費用が発生した保護者等に対し、補助金を交付することにより経済的な負担軽減を図った。 なお、旅行日程や行程の変更、適切な感染防止対策の徹底により、市内全小中学校において修学旅行を実施することができた。 【実績値】 小中学校 6校				

事業費名	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【就学援助費（小学校）】	令和3年度 決算額	74,998円		
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	失業や休業等により収入が著しく減少し、経済的困窮が見込まれる世帯について、直近3か月分の収入状況等により審査を行い、対象世帯に就学援助費を支給して義務教育の円滑な実施を図る。 【計画値】 認定見込児童数 10人	評価	達成		
取組・成果	2世帯から申請があり、学用品費、通学用品費、校外活動費、学校給食費の支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【実績値】 認定児童数 2人				

事業費名	新型コロナウイルス感染症経済対策事業費 【就学援助費（中学校）】	令和3年度 決算額	141,472円		
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	失業や休業等により収入が著しく減少し、経済的困窮が見込まれる世帯について、直近3か月分の収入状況等により審査を行い、対象世帯に就学援助費を支給して義務教育の円滑な実施を図る。 【計画値】 認定見込生徒数 10人	評価	達成		
取組・成果	1世帯（2人）から申請があり、学用品費、通学用品費、校外活動費、クラブ活動費、学校給食費の支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【実績値】 認定生徒数 2人				

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	③ 学校給食の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することを通じて、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、発達段階に応じた食生活に対する正しい理解と望ましい食習慣や生活習慣を身に付けるための訪問指導等を行った。</p> <p>また、食材費の一部を市が負担し、栄養面と内容の充実を図った。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校給食を支える人々たちを交えて実施する交流すまいる給食は実施できなかった。</p>
課題	<p>市産直連絡協議会等と連携し地場産の米・野菜等を積極的に使用し地産地消を推進しているが、産直農家の高齢化が進んでおり、組合員数や作付面積の維持・向上など安定した供給体制の整備が望まれる。</p>

事業費名	学校給食事業費	令和3年度 決算額	207,567,999円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会 学校給食センター			
事業内容	<p>安全安心でおいしい給食を提供し、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図り、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい食習慣を養う。</p> <p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消を推進する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間給食実施回数 小学校168回、中学校168回</li> <li>給食実施校数 小学校12校（うち1校は特別支援学校） 中学校4校（うち1校は特別支援学校）</li> <li>学校給食食材に占める地場産物使用割合 66.0%</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 適切な栄養摂取と望ましい食習慣を養うことができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活の制限や業者の業務停止など、学校給食を取り巻く環境は厳しい状況だったが、安全安心な給食を提供し、実施回数も達成できた。</p> <p>また、栄養教諭による授業では、各学校の実情に合わせた指導を行い、望ましい食習慣など食育を推進することができた。</p> <p>給食の食材費を市が一部負担することで保護者の負担軽減を図るとともに、デザート回数を維持することができた。</p> <p>【遠野市の食材費負担額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生1食当たり27円、総額4,926,096円</li> <li>中学生1食当たり52円、総額5,424,056円</li> </ul> <p>2 遠野産の食材を積極的に使用し、地場産物使用割合も概ね達成できた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間給食実施回数 小学校168回、中学校168回</li> <li>給食実施校数 小学校12校（うち1校は特別支援学校） 中学校4校（うち1校は特別支援学校）</li> <li>学校給食食材に占める地場産物使用割合 63.3%</li> </ul>			

事業費名	学校給食事業費（繰越明許費）	令和3年度 決算額	3,288,780円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会 学校給食センター			
事業内容	<p>学校給食の主菜を適温の状態を提供することを目的に主菜用の保温食缶を購入する。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主菜用保温食缶購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>4リットル 20個</li> <li>7リットル 35個</li> <li>8リットル 19個</li> </ul> </li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>市内全学校分の保温食缶を発注したため、年度内の納品が間に合わなかったことから繰越事業となった。</p> <p>全学校の食缶が保温食缶となったことから、主菜を温かい適温の状態で提供することができた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主菜用保温食缶購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>4リットル 20個</li> <li>7リットル 35個</li> <li>8リットル 19個</li> </ul> </li> </ul>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(3) 高等学校への支援
施策の展開	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野高等学校と遠野緑峰高等学校の2校存続に向け入学者数の確保を図るため、市内外の中学生等に対する高校の魅力発信を行った。</p> <p>令和2年度からは「地域みらい留学」に参画し、市内高等学校の魅力を全国に発信し県内外からの入学者を確保する新たな取組を開始した。</p> <p>経済的事由により修学が困難な学生に対して学資の貸与を行い、向学心ある人材の育成に取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、通年で奨学生数の追加募集や納付相談の受付を行ったが追加応募等の相談は寄せられなかった。</p>
課題	<p>市内高等学校の存続には入学者の確保が不可欠であるものの、少子化の進行により市内・県内からの入学者の確保も厳しい状況下にあることから、「地域みらい留学」へ参画し全国への情報発信に取り組んでいる。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの説明会の開催となったが、入学者の確保を図り、更に市内高校の魅力を広めるため、継続的な情報発信に取り組む必要がある。</p> <p>奨学資金については、貸与資金の未償還が課題であることから、本人及び保証人等への定期的な催告による納付の促進に努める必要がある。また、ここ数年、貸与希望者が予定人数を満たしていないことから、借入を希望する方のニーズにあった制度であるか検証する必要がある。</p>

事業費名	高校魅力化サポート事業費	令和3年度 決算額	8,646,200円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>市内高等学校の魅力向上につながる活動支援をはじめ、両校の魅力を市内外の中学生や保護者等にPRするとともに、全国に情報発信するため「地域みらい留学」に参加し、市外からの入学者の確保につなげる取組を行う。</p> <p>また、公共交通機関を利用して市内高等学校へ通学する生徒の保護者に対し、通学費の補助を行うことで、経済的な負担を軽減し、入学者数の拡大を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野緑峰高校情報処理科への入学者数 20人以上 (高校魅力化アクションプラン目標値)</li> <li>市内高校通学費支援 90人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域みらい留学への参加 都道府県の枠を越え多様な人々と高校生活を過ごす「地域みらい留学」事業に参加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる開催となったが、全国の中学生や保護者等に市内高等学校の魅力を発信した。</li> <li>市内高校が取り組む高校魅力化推進事業への補助金交付 (1) 学校紹介パンフレット、PR用DVD等の作成支援(両校) (2) 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援(遠野高校) (3) 「拓進プロジェクト」活動、資格取得等の支援(緑峰高校)</li> <li>市内高等学校通学費補助金 公共交通機関の通学費の半額を補助し保護者の経済的負担を軽減した。</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度入学者数 遠野高校 普通科 117人 遠野緑峰高校 生産技術科 31人、情報処理科 11人</li> <li>市内高校通学費支援 79人</li> </ul>			

事業費名	育英事業費	令和3年度 決算額	33,055,140円	
令和4年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る経済的支援のため、新規採用枠がある限りは通年で追加募集を行うほか、計画の変更などの納付相談を受け付ける。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規奨学生採用数 32人（うち大学生等28人／うち高校生4人）</li> <li>・継続奨学生数 59人（うち大学生等54人／うち高校生5人）</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>新規奨学生の募集を行い、年度途中で追加応募のあった1名を含め、新たに計15人の奨学生を決定し、継続奨学生56人と合わせて71人に奨学金を貸与した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を理由とする償還計画の変更や納付相談はなかった。</p> <p>令和4年3月末で、継続奨学生のうち25人が貸与期間を満了した。</p> <p>【貸付状況】</p> <p>新規奨学生 6,840,000円、継続奨学生 25,680,000円、計 32,520,000円</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規奨学生採用数 15人（うち大学生等15人／うち高校生0人）</li> <li>・継続奨学生数 56人（うち大学生等52人／うち高校生4人）</li> </ul>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(1) 社会教育の充実
施策の展開	① 総合推進体制の整備 ② 家庭や地域教育の充実 ③ 成人教育の充実 ④ 高齢者教育の充実 ⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成

施策の展開に係る全体総括	生涯学習の推進と社会教育の充実、家庭教育の支援に向け、関係団体と連携し事業にあたったが、新型コロナウイルス感染症の影響から大規模な講座の開催の見送りや定員を減らすなど、参加人数を制限して事業を展開した。また、学校運営協議会制度の導入に向け、研修会を開催するなど準備にあたった。
課題	新型コロナウイルス感染症に配慮しながらも、新しい技術の活用など、開催方法を工夫するとともに、関係する機関や団体等とのゆるやかなネットワークのもと、住民が主体的に参画する社会教育事業の実現にむけた取組を進める必要がある。

事業費名	学びのまちづくり推進事業費	令和3年度 決算額	53,917,982円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>生涯学習の推進と社会教育の充実及び家庭教育の支援を図るため、関係機関や団体との連携・協働のもとで学び合う機会を創出し、複雑化・多様化する課題の解決に資する。</p> <p>1 生涯学習及び芸術振興、地区公民館業務については、民間のノウハウを活用した事業を展開し、多くの市民が生涯にわたって学び続ける環境づくりと豊かな暮らしに資する。</p> <p>2 令和4年度の学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向け、方針の策定や制度の周知に向けた研修を実施する。</p> <p>3 PTAや地域と連携し、保護者に対する学習の機会及び情報の提供などの家庭教育を支援する取組を行う。</p> <p>4 民間法人と連携し、旧土淵中学校を利活用した「遠野みらい創りカレッジ」の各種プログラムを実施し、交流促進や人材育成、産業の創造などに取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 生涯学習講座            (1) 全講座における継続的な講座数 5講座            (2) 延べ受講者数 4,800人            2 学校運営協議会制度導入に向けた研修会等の開催 22回            3 家庭教育ゼミナール受講者数 1,000人            4 遠野みらい創りカレッジ運営業務プログラム            実施数 18事業、利用者数 7,000人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>関係機関や団体との連携のもと、いつでも、どこでも、だれもが学習できる環境と優れた芸術に触れる機会の充実に努め、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に資する学び合いの機会を創り出すことができた。</p> <p>1 生涯学習・社会教育            民間の関係団体や社会教育団体との連携による生涯学習講座を展開し、生涯学習の推進を図った。</p>			



取組・成果	<p>2 学校運営協議会制度の導入 研修会や熟議体験、パネルディスカッションの実施や広報紙の発行などにより、制度導入への理解と機運の醸成を図った。</p> <p>3 家庭教育支援事業 市内小中学校の保護者や児童生徒を対象とした家庭教育ゼミナールを開催し、「情報メディアとの上手なつきあい方」など、家庭教育の課題解決に向けた学びの機会を提供した。</p> <p>4 遠野みらい創りカレッジ 小学生の田植え、稲刈り体験や中学生の職場体験など、生まれ育った地域への理解を深める機会を提供した。また、市内の中高生と首都圏の大学生、社会人とのワークショップなどを実施し、幅広い視野を持った人材育成に取り組んだ。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 生涯学習講座 (1) 全講座における継続的な講座数 6 講座 (2) 延べ受講者数 2,186人</p> <p>2 学校運営協議会制度導入に向けた研修会等の開催 25回</p> <p>3 家庭教育ゼミナール受講者数 1,343人</p> <p>4 遠野みらい創りカレッジ運営業務プログラム 実施数 13事業、利用者数 4,126人</p>
-------	---

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	令和3年度 決算額	1,565,346円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 令和2年度に策定した、第4次遠野市男女共同参画基本計画（と・お・の いきいき参画プラン）の計画初年度であることから、男女共同参画の推進に向けた取組にあたる。</p> <p>2 成人対象者による実行委員会を組織し、「はたちのつどい」を開催する。</p> <p>3 令和4年4月に行われる民法改正に伴い、成年年齢が引き下げられることから、成人式のあり方を検討する。</p> <p>4 青少年団体及び女性団体の活動を支援する。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>1 補助金交付団体 青少年団体 1団体 / 女性団体 1団体</p> <p>2 成人式参加者 160人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 遠野テレビでの周知や、県や市内の関係団体と連携したパネル展の開催などを実施し、第4次遠野市男女共同参画基本計画について幅広い周知を行うとともに、男女共同参画を推進する「いわて男女共同参画サポーター」について、3名新規に登録するなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組が図られた。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策を図ったうえで、成人式「はたちのつどい」を開催し、社会人となる意識を高めるとともに、新成人を激励・お祝いすることができた。 また、新成人が主体的に式典を運営するために成人式実行委員会を組織し、コロナ禍にあっても、開催に向けた方策を協議し準備を進め、新しい生活様式を取り入れた式典の運営等に取り組むことで、将来的な地域の課題解決に資する力を醸成した。</p> <p>3 令和4年4月に行われる民法改正に伴い、成年年齢が引き下げられることから、実行委員経験者や高校生とその保護者を委員とした検討会を開催し協議した結果、ふるさとを再認識できる機会であることや主体的な式典の企画運営に向けた体制づくり等の理由から、令和5年以降の成人式についても、20歳を対象とし開催することとした。</p> <p>4 地域と暮らしを支える活動に取り組む遠野市地域婦人団体協議会と、青年の視点からまちづくりについて取り組む遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、コロナ禍での活動を支援した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 補助金交付団体 青少年団体 1団体 / 女性団体 1団体</p> <p>2 成人式参加者 171人</p>			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	令和3年度 決算額	2,272,740円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>高齢者の健康保持と増進、生きがいを高めるとともに親睦を図り、つながりづくりに寄与するため、各種スポーツ大会を開催するとともに、実施に向けた支援を行う。</p> <p>また、老人クラブ活動を支援することにより、高齢者の自立した生活と生きがいのある暮らしの実現に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 各種スポーツ大会数 5回</p> <p>2 各種スポーツ大会参加者数 1,500人</p> <p>3 老人クラブ加入者数 2,210人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>高齢者が生きがいを持ち、健やかに生活できるよう、各種スポーツ大会を開催するとともに、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大部分の事業が中止となった。</p> <p>そうした状況であったが、シルバー文化祭「展示部門」や全国老人クラブ連合会が主唱する「老人の日・老人週間」に伴う「環境整備ボランティア」など、実施可能な事業について感染症対策を講じて実施した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 各種スポーツ大会数 2回</p> <p>2 各種スポーツ大会参加者数 100人</p> <p>3 老人クラブ加入者数 2,147人</p>			

事業費名	青少年健全育成活動事業費	令和3年度 決算額	557,736円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>青少年の健全育成を効果的に進めるため、遠野市少年センターに専任少年委員及び少年委員を置き、非行の防止を始めとした健全育成の啓発活動に取り組む。</p> <p>また、遠野市少年委員協議会に補助金を交付し、少年委員相互の連携づくりや研鑽に努め、青少年の非行防止、健全育成の推進を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 巡回補導活動 延 450人</p> <p>2 特別補導活動への参加 30人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、夏まつり特別補導活動の中止をはじめ、街頭補導活動の休止期間があったが、小学生の下校時間に合わせた活動や、あいさつ運動、防犯協会主催の巡回活動への参加などで、青少年の非行防止を始めとした健全育成に向け、子ども達への積極的な声かけを実施した。</p> <p>また、「遠野市少年センターだより」を年11回発行し、街頭補導活動の実施状況や少年センターの活動周知など、青少年の健全育成の取組みについて発信した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 巡回補導活動 延 373人</p> <p>2 特別補導活動への参加 0人</p>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(2) 芸術文化活動の推進
施策の展開	① 芸術文化団体の育成と支援 ② 創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る全体総括	遠野市芸術文化協会、市民の舞台制作団体へ事業費を補助し、市内における芸術文化活動を支援した。 さらには、遠野市民センター50周年記念「遠野の郷に福きたる～福が夢を連れてくる～」及び第16回遠野市民芸術祭など、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、市民に芸術文化に触れる機会を提供することができた。
課題	新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、市民の芸術文化に対する興味関心を高めるため、優れた芸術文化に触れる機会の拡充を図る。

事業費名	芸術文化振興事業費	令和3年度 決算額	1,900,000円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	市内における芸術・文化の振興を図ることを目的として、芸術文化関係団体に事業費を補助する。 【計画値】 1 自主事業の顧客満足度 85% 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,200人 3 市民協働の芸術文化事業の観覧者数 6,400人	評価	概ね達成	
取組・成果	1 市民センター開館50周年記念事業 (1) 「遠野の郷に福きたる～福が夢を連れてくる～」 鑑賞者数 353人 2 市民協働の芸術文化事業の支援 (1) 岩手県青少年劇場 参加者数 3人、鑑賞者数 626人 (2) 第16回遠野市民芸術祭 参加者数 369人、鑑賞者数 1,903人 (3) 第31回遠野少年少女合唱隊発表会 参加者数 20人、鑑賞者数 110人 (4) 遠野市民センターバレエスタジオ第44回発表会 参加者数 34人、鑑賞者数 335人 (5) 第47回市民の舞台遠野物語ファンタジー「きつねの絵筆」 参加者数 181人 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【実績値】 1 自主事業の顧客満足度 98.8% (満足と回答した人249人/回答者数252人) 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 607人 3 市民協働の芸術文化事業の観覧者数 2,974人			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	① 博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>特別展や講座等を開催し、市内外へ情報発信を行い交流人口の拡大に努めた。児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。</p> <p>新型コロナウイルスの感染が市内外で拡大した7月から9月の入込が大幅に落ち込んだものの、10月から開催した企画展「遠野物語と呪術」の入込は好調であったことから、来年度以降も魅力的な特別展・企画展の開催に努める。</p>
課題	博物館見学者の満足度は高いものの、入館者数は未達成であることから、魅力的な特別展やイベントの開催、情報発信の強化などを図る必要がある。

事業費名	博物館費	令和3年度 決算額	7,748,463円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>特別展や記念イベントを開催、市内外に情報を発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「遠野物語と遠野の縄文文化」や企画展「遠野物語と呪術」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>市民対象の展示解説会や教室を開催し、文化に親しむ機会を提供する。博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館入館者数 17,800人</li> <li>・博物館講座等の受講者数 1,000人</li> <li>・特別展の見学者満足度 6点以上(10点中)</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>特別展「遠野物語と遠野の縄文文化」、秋季企画展「遠野物語と呪術」を計画通り開催した。特にも秋季企画展は近年の呪術ブームと博物館公式SNSでの情報発信が功を奏し、会期中の入込は前年同期比175%(1,041人増)となり、市内外に遠野の文化と魅力を発信することができた。</p> <p>また、商工会と連携した特別展「遠野のひな人形」を開催して、中心市街地への集客に努めた。</p> <p>博物館教室等を開催し、郷土の歴史を学ぶ学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 夏季特別展「遠野物語と遠野の縄文文化」入館者数 2,488人(69日間)</li> <li>2 秋季企画展「遠野物語と呪術」入館者数 2,422人(29日間)</li> <li>3 冬季特別展「遠野のひな人形」入館者数 438人(23日間)</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館入館者数 10,223人</li> <li>・博物館講座等の受講者数 958人</li> <li>・特別展の見学者満足度 8.4点</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	② 図書館活動の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>広報誌、遠野テレビ等を活用し積極的に情報発信を行いながら、館内・館外における図書サービス事業を展開し、読書の普及活動と図書館利用の促進に努めた。</p> <p>学校、児童館、福祉施設等と連携した図書の貸出及び配架、移動図書館車の運行を行い、子どもが読書に親しむ機会の創出を図った。また、貴重な図書館資料、郷土資料の情報収集や、整理・保存の適正な管理に努めた。</p>
課題	<p>更なる図書館利用の促進のため、図書館の利便性の向上等による市民がより利用しやすい環境を構築する必要がある。</p>

事業費名	図書館費	令和3年度 決算額	13,278,255円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館の利用の促進を図るため、広報誌、遠野テレビを活用し情報発信を行いながら、イベント、読書普及活動を実施する。</li> <li>2 自主活動グループへの支援と育成を推進する。</li> <li>3 貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。</li> <li>4 移動図書館車の効率的な運行を推進し、読書の普及に努める。</li> <li>5 学校図書館、児童館、福祉施設と連携し、施設貸出図書の充実を図る。</li> </ol> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者登録率 40.3%</li> <li>・市民一人当たりの平均貸出冊数 2.8冊</li> <li>・学校図書館・児童館への児童一人当たりの平均貸出冊数 12.8冊</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 広報、遠野テレビにより図書館情報を発信しながら、本の企画展、読み聞かせ会、工作会を開催し、図書館の利用の促進を図った。</li> <li>2 読書ボランティアの資質向上のため、中部教育事務所と連携して、研修会を開催し、参加者相互の知識、情報の共有を図った。</li> <li>3 貸出図書の充実とともに新型コロナウイルス感染症予防に努め、より利用しやすい読書環境を提供した。</li> <li>4 移動図書館車で利用者の要望を基に検討した場所を計画的に巡回運行し利用者の利便性を図ることができた。</li> <li>5 小中学校、児童館、福祉施設と連携し、利用者のニーズに対応した図書の施設貸出を実施した。また、図書館教室、多読者表彰を実施し、こどもが読書に親しむ機会の創出による読書活動の推進を図った。</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者登録率 38.9%</li> <li>・市民一人当たりの平均貸出冊数 2.5冊</li> <li>・学校図書館・児童館への児童一人当たりの平均貸出冊数 12.8冊</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保護と継承
施策の展開	① 文化財調査・保護 ② 郷土芸能活動の推進 ③ 遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>令和2年度に引き続きコロナ禍により、郷土芸能の発表会などは中止せざるを得なかったが、芸能備品整備や指定文化財修理への支援は実施することができた。重要文化財千葉家住宅等の文化財の修理等については着実に進めた。</p> <p>埋蔵文化財の保護については、計画どおり開発に伴う発掘調査を実施し調査報告書を刊行した。埋蔵文化財の体験教室や企画展を市民有志と企画開催し、コロナ禍でありながらも、遠野まちなか・ドキ・土器館の入館者大幅アップを実現した。</p> <p>国重要文化的景観選定地域の土淵山口集落では、地域住民とともに修景整備や、それに関わるイベントを少人数で開催することができた。</p> <p>過去に認定された遠野遺産の現況調査を実施し、今後の保存活用について、地域住民、専門家、行政が一体となって検討する取り組みを開始した。</p> <p>文化財の保護と継承で設定しているまちづくり指標は、全て達成した。</p>
課題	コロナ禍で停滞している郷土芸能の伝承活動を支援し、伝承が途絶えないよう活性化を図っていく必要がある。

事業費名	文化財調査保護費	令和3年度 決算額	1,568,205円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>文化財保護法及び遠野市文化財保護条例に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓蒙活動を推進し、市民の文化向上と郷土愛の醸成を図る。</p> <p>また、民俗芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場の提供等、必要な支援を行う。</p> <p>1 指定文化財の調査・保護及びその他未指定文化財の調査、保護啓蒙活動の実施</p> <p>2 民俗芸能の活動支援</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能の映像記録件数 1件</li> <li>・芸能備品整備補助 3団体</li> <li>・郷土芸能共演会開催支援 1回</li> <li>・神楽共演会開催支援 1回</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 市指定文化財保存事業補助・文化財指定・未指定文化財調査市指定文化財の大般若経典の修復に係る費用の一部を補助した。</p> <p>また、「及川家住宅(古軒)主屋」について調査を実施し、国に意見具申を行い国登録有形文化財に登録となった。</p> <p>2 民俗芸能の保存継承</p> <p>早池峰しし踊り上柳保存会、青笹町しし踊り保存会、下郷芸能保存会の3団体に対し備品整備の補助を行った。</p> <p>発表の場として開催を支援している郷土芸能共演会及び神楽共演会は、開催の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催されなかったため、映像記録を含めた支援を行うことができなかった。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能の映像記録件数 0件</li> <li>・芸能備品整備補助 3団体</li> <li>・郷土芸能共演会開催支援 0回</li> <li>・神楽共演会開催支援 0回</li> </ul>			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	令和3年度 決算額	7,001,850円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>先人たちが遠野の地に生活した証である埋蔵文化財を、魅力あるまちづくりに生かし、郷土に愛着を持った人を育むために、以下の事業を実施し、保存活用を図る。</p> <p>1 埋蔵文化財調査事業 開発に伴う遺跡分布調査、工事立会、試掘調査、発掘調査、報告書刊行</p> <p>2 埋蔵文化財公開活用事業 発掘資料の展示公開、体験教室の開催</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡分布調査 100件</li> <li>・遺跡試掘調査 10件</li> <li>・遺跡発掘調査 1件</li> <li>・調査報告書の刊行 300部</li> <li>・企画展開催 1回</li> <li>・体験教室開催 3回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 各種開発行為に伴う遺跡の分布調査、試掘調査のほか、宮代IV遺跡発掘調査を実施し、平泉時代の経塚を市内で初めて発見し、記録保存した。遺跡現地説明会を開催し、市内外から60名の見学者が訪れた。</p> <p>2 遺跡出土資料の展示公開、体験教室の開催</p> <p>(1) 企画展「ドキ土器！遠野縄文展」、「DOKI DOKI 縄文呪術展」（参加者数：1,457人、期間5月1日～令和4年3月31日）</p> <p>(2) 「縄文土器・土偶作り教室」（参加者数：50人、出前教室2回含む）</p> <p>(3) 「勾玉作り教室」（参加者数：46人、出前教室1回含む）</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡分布調査 127件</li> <li>・遺跡試掘調査 5件</li> <li>・遺跡発掘調査 1件</li> <li>・調査報告書の刊行 300部</li> <li>・企画展開催 2回</li> <li>・体験教室開催 6回</li> </ul>			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費（繰越明許費）	令和3年度 決算額	684,640円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>令和元年度から令和2年度にかけて発掘調査を行った土淵町の安部館遺跡から出土した金属製品の保存処理及び発掘調査報告書の作成を行う。保存処理には8か月の期間を要することから、繰り越して事業を実施する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属製品保存処理 1件</li> <li>・調査報告書の刊行 300冊</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>馬具及び銭貨などの出土金属製品8点について、樹脂の含浸及び塗布により、強化・防錆処理と一部復元を専門業者に委託して実施した。これらの成果をまとめて、発掘調査報告書を刊行した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属製品保存処理 1件</li> <li>・調査報告書の刊行 300冊</li> </ul>			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	令和3年度 決算額	209,558,324円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保存していくため、専門家委員会を開催し助言を得て、保存修理工事及び防災設備整備工事を円滑に進める。</p> <p>また、修理後により良く活用を図るため、千葉家旧蔵古文書等資料の整理を進める。</p> <p>1 修理事業 2 防災事業 3 活用事業</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主屋馬屋組立工事 126㎡</li> <li>・主屋耐震補強工事 1件</li> <li>・石垣工事 2か所</li> <li>・支障木伐採工事</li> <li>・修理現場公開 2回</li> <li>・整備事業記録映像</li> <li>・古文書整理台帳作成</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 保存修理工事の実施 馬屋の組立工事 126㎡のほか、主屋耐震補強工事、稲荷社及び大工小屋石垣工事、大工小屋基礎工事を実施した。 修理工事見学会及び市内小学校の見学の受け入れなどを行い、計 245人が参加した。</p> <p>2 防災施設等工事 稲荷社裏にある危険巨石対策工事を引き続き実施し、併せて敷地内の支障木伐採を行った。</p> <p>3 活用に向けた検討及び資料整理 重文千葉家の活用を考える会と具体的な活用の検討や、茅の生産体験、学習会の開催等を連携して実施した。 また、古文書資料調査は台帳整理を完了した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主屋馬屋組立工事 126㎡</li> <li>・耐震補強工事 1件</li> <li>・石垣工事 2か所</li> <li>・支障木伐採工事</li> <li>・修理現場公開 4回</li> <li>・整備事業記録映像</li> <li>・古文書整理台帳作成</li> </ul>			

事業費名	文化的景観保存事業費	令和3年度 決算額	920,362円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定地域である、荒川高原牧場及び土淵山口集落の保護と活用を図る。</p> <p>1 山口集落の生活に触れられるイベントの開催 2 山口集落の修景整備 3 荒川高原牧場の活用策の検討</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会（現地視察等を含む） 3回</li> <li>・イベントの開催 2回</li> <li>・修景整備 3件</li> </ul>	評価	達成	



取組・成果	<p>1 イベントの開催 山口自治会と連携し、茅刈り体験会と薪割り体験会を初めて開催した結果、市内外から参加があり、『遠野物語』の里に関心を持ってもらえるきっかけとすることができた。</p> <p>2 修景整備 景観を阻害する支障木の伐採、使用されていないごみ置き場の撤去、姥子淵（カッパ淵）へ続く通り道への砂利敷きを実施したことで、眺めの良い景観や、観光客等が訪れやすい環境を整備することができた。</p> <p>3 荒川高原牧場の活用策の検討 「遠野の景観」保存調査委員会委員や牧場関係者と、同牧場の活用について検討を重ねた。今後は、牛馬の放牧期間などの旬な情報の発信などに努め、来訪者が多くなるような事業を推進する。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会（現地視察等を含む） 3回</li> <li>・イベントの開催 2回</li> <li>・修景整備 3件</li> </ul>
-------	--

事業費名	遠野遺産認定事業費	令和3年度 決算額	1,224,050円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>1 遠野遺産認定件数の増 2 新たに認定された遠野遺産等の表示板の設置、竿頭綬の作成 3 ガイドブックの発行等による情報発信 4 活動の支援</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定件数の増 1件</li> <li>・遠野遺産標示板設置 3基</li> <li>・文化財説明板設置 3基</li> <li>・ガイドブック作成 3,000部</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 遠野遺産認定件数の増 新規の遺産5件（五百羅漢、宇迦神社、宝龍大権現、小倉稻荷神社、遠野宮守わさび）を認定し、累計数が166件となった。</p> <p>2 表示板の設置 遠野遺産表示板追加認定1基（山口の水車小屋とこんびり）、文化財標柱10基（サワラ、元駒形神社の杉、早池峯神社（本殿及び拝殿）、早池峯神社神門、東禅寺跡6基）を修繕し、遺産や文化財の啓発に努めた。</p> <p>3 情報発信 ガイドブックの作成、広報遠野への掲載など、情報発信により遺産保護について周知することができた。</p> <p>4 活動の支援 みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備など12件（遠野七観音・鞍迫観音、中妻観音堂、伊豆神社、上中宿の熊野神社と石碑群、菅原神社、神遣神社、綾織駒形神社、塚沢神社と奉安殿、繫稲荷神社、中斉の夫婦カツラ、鱒沢四社・高館八幡神社とエドヒガンザクラ、新里の愛宕神社）の保護事業が実施されたことにより、市民協働による地域づくりが推進された。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定件数の増 5件</li> <li>・遠野遺産標示板修繕 1基</li> <li>・文化財標柱修繕 10基</li> <li>・ガイドブック作成 3,000部</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(3) 郷土の文化を生かした地域創造
施策の展開	① 郷土文化の調査・研究の推進 ② 次世代へのふるさと文化の継承 ③ 市史編さん事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野の文化をテーマとした創作活動を表彰する佐々木喜善賞表彰式や遠野文化フォーラムを計画どおりに開催し、遠野の文化を広く発信した。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定や遠野こだわりの語り部の活動を支援した。</p> <p>また、市史編さん委員会を開催して事業計画の審議等を行うとともに、各専門部会で今後の刊行に向けた実務協議や資料調査を行った。市民の調査研究員と協働して古文書解読作業も進めた。</p>
課題	<p>遠野の文化を広く発信し、郷土の文化を担う人材の育成を図る。今後の市史の刊行に向けて具体的な作業を進め、市史編さん事業を着実に推進していく。</p>

事業費名	遠野文化調査研究費	令和3年度 決算額	8,639,683円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>遠野の文化を生かした次代を担う「人づくり」と活力ある「まちづくり」を推進するため、遠野の文化をテーマとした創作活動を表彰する佐々木喜善賞や文化フォーラム等の開催により、遠野の文化を広く発信する。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定や遠野こだわりの語り部の活動を支援する。</p> <p>1 佐々木喜善賞の選考・表彰式の開催 2 遠野文化フォーラムの開催 3 こども語り部の認定</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐々木喜善賞の選考・表彰の開催 1回</li> <li>遠野文化フォーラムの開催 1回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>遠野の文化をテーマとした創作活動を表彰する佐々木喜善賞表彰式や遠野文化フォーラムを計画どおりに開催し、遠野の文化を広く発信した。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定や遠野こだわりの語り部の活動を支援した。</p> <p>1 佐々木喜善賞の選考・表彰式の開催 佐々木喜善賞2点、奨励賞1点、親子賞1点を選考し、表彰式を開催した。</p> <p>2 遠野文化フォーラム「いま甦る原本遠野物語」開催 3 こども語り部の認定 33人</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐々木喜善賞の選考・表彰の開催 1回</li> <li>佐々木喜善賞 2点</li> <li>奨励賞 1点</li> <li>親子賞 1点</li> <li>遠野文化フォーラムの開催 1回</li> </ul>			

事業費名	初稿本遠野物語発刊事業費	令和3年度 決算額	1,223,740円	
令和4年度 事業所管課	令和3年度で終了（市民センター 文化課）			
事業内容	<p>柳田國男没後60年を記念し、博物館で所蔵する遠野物語原稿の全てを写真で掲載する書籍『原本遠野物語』が株式会社岩波書店から発刊されることから、編集委員会を開催し、出版に向けた準備を進める。</p> <p>1 編集委員会の開催 2 書籍の購入及び配布</p> <p>【計画値】 ・編集委員会の開催 1回 ・書籍購入 200冊</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>柳田國男没後60年を記念した書籍『原本遠野物語』の編集委員会を開催し書籍の編集に協力した。</p> <p>株式会社岩波書店から発刊された『原本遠野物語』を購入して市内の小中高校及び地区センター等に配布し、『遠野物語』の普及・啓発に努めた。</p> <p>1 編集委員会の開催 2 書籍の購入及び配布</p> <p>【実績値】 ・編集委員会の開催 1回 ・書籍購入 200冊</p>			

事業費名	こども本の森構想推進事業費	令和3年度 決算額	97,666,769円	
令和4年度 事業所管課	市民センター こども本の森運営企画室			
事業内容	<p>世界的建築家安藤忠雄氏は「東北復興のシンボルは子どもたちの未来である。子どもたちの未来のためには本、読書が大事ではないか」と提唱しておりこの想いをカタチにするため、安藤氏が「こども本の森遠野」をつくり遠野市に寄贈していただくものである。</p> <p>令和3年6月に安藤氏から建物を寄贈していただき、7月には「こども本の森遠野」としてオープンする予定としていることから、準備を進める。</p> <p>1 施設整備 2 本の配架 3 「こども本の森遠野」の開館 4 「こども本の森遠野」の周知 5 寄附の募集</p> <p>【計画値】 ・蔵書配架 13,000冊 ・「こども本の森遠野」令和3年7月開館 ・入館者数 10,000人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>令和3年6月15日に世界的建築家安藤忠雄氏から「こども本の森遠野」の寄贈を受けるにあたり、それに付随する設備工事等を行った。</p> <p>1 施設整備 (1) いちの蔵 本を読むことができる空間、研修室、イベント会場等として全面改修した。 (2) への蔵 倉庫として、屋根及び外周を改修した。 (3) 外構 本館前面、塀、駐車場等を整備した。</p> <p>2 本の配架 専門業者へ委託して、蔵書13,000冊を配架した。</p> <p>3 「こども本の森遠野」の開館 (1) 開館 令和3年7月25日(日) (2) オープニングセレモニー来場者 308人</p> <p>4 「こども本の森遠野」の周知 (1) キャラクターぬいぐるみを製作した。 (2) 県内全域児童へタブロイド版広告を配付した。 (3) 特別テレビ番組を制作し県内に放送した。</p> <p>5 寄附の募集 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (1) 個人 26件 1,658,200円</p>			

取組・成果	(2) 法人 28件 3,415,000円
	(3) ふるさと納税 512件 5,543,500円
	合計 566件 10,616,700円
	【実績値】
	・蔵書配架 13,000冊 ・「こども本の森遠野」令和3年7月25日開館
	・入館者数 14,805人（令和3年7月25日～令和4年3月31日）

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	令和3年度 決算額	4,220,395円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>『遠野市史』、『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市政の大きな変換期をまとめた「現代編」を令和元年度に刊行したが、新しい研究成果を踏まえた通史編や民俗編の編さんも求められている。歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸や途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として、後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、継続して市史の編さんを行う。</p> <p>1 令和5～7年度 資料編刊行 2 令和8～9年度 通史編、民俗編刊行 3 令和9年度 遠野南部氏遠野統治 400年イベントの開催</p> <p>※平成28～令和9年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>【計画値】</p> <p>・各年度の事業進捗率 100% 下記4項目（1項目25%）すべてを実施した場合 100%と設定</p> <p>1 市史編さん委員会開催 2 資料収集、調査 3 刊行のための実務作業 4 教育普及・広報</p> <p>・市史刊行冊数（累計）1冊</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 市史編さん委員会を開催し、全体的な事業計画等について審議するとともに、各専門部会間の情報交換を行い、事業の円滑な推進を図った。 委員会 2回</p> <p>2 専門部会委員や調査研究員等の協力のもと、資料の収集・調査、古文書解読作業を進め、基礎資料の蓄積が図られた。 (1) 資料編、通史編、民俗編に関する調査 61回 (2) 遠野南部家所蔵『御用留書』解読会 23回</p> <p>3 各専門部会で、資料の取り上げ方や原稿の体裁など、刊行に向けた実務協議を重ねた。 原始・古代・中世部会7回、近世部会2回、近現代部会3回、民俗部会2回</p> <p>4 講座の開催や「市史編さん活動報告」の発行などにより、編さん活動を周知し、遠野の歴史に関する教育普及を図った。 (1) 市史編さん講座 開催日：12/13 参加者：86人 (2) 古文書講座 開催回数：3回 参加者：延べ30人 (3) 「市史編さん活動報告」毎月発行（図書館・博物館に配架、ホームページに掲載） (4) 市広報やホームページによる情報発信</p> <p>【実績値】</p> <p>・事業進捗率 100%</p> <p>1 市史編さん委員会開催 2 資料収集、調査実施 3 刊行のための実務作業実施 4 教育普及・広報活動実施</p> <p>・市史刊行冊数（累計）1冊</p>			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	① 健康づくり総合プログラムの推進 ② スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	<p>新型コロナウイルス感染拡大により延期された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も本年開催され、スポーツイベント等の気運も高まってきた。</p> <p>感染防止対策を講じて、スポーツ団体の運営支援によりスポーツイベントや競技スポーツの普及を推進し、ジュニア世代のレベルアップを図る教室も開催できた。健康づくり教室も開催し、市民に習慣化できる運動機会を提供することができた。</p> <p>パラスポーツを通じたパラリンピアンとの交流や障がい理解を深める場を提供することで、「心のバリアフリー」の推進に取り組んだ。</p>
課題	<p>新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、健康づくりの推進や競技スポーツの振興を図り、スポーツ合宿やスポーツ大会、スポーツイベント等などの誘致による地域活性化、スポーツによる共生社会の実現に取り組む。</p>

事業費名	生涯スポーツ推進事業費	令和3年度 決算額	7,621,172円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>生涯スポーツは、健康の保持増進やレクリエーションを目的としていつでも、誰でも、どこでも気軽に参加できるスポーツである。</p> <p>市民がそれぞれの体力や年齢、目的等に応じて、いつまでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、次の施策を推進する。</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊事業 市内の各保育園等を会場に、未就学児童並びに保護者を対象としたリズム体操等の教室を開催し、バランス感覚や運動能力の向上を図る。</p> <p>2 エクササイズ教室の開催 スポーツ参画人口の拡大を図るため、市民センターを会場として定期的に参加できるエクササイズ教室を開催し、運動するきっかけや機会を提供する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊事業参加者数 1,550 人 2 エクササイズ教室の開催参加者数 2,100 人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 キッズ元気アップ応援隊事業 令和3年度は65回開催し、体を使って運動する楽しさや、遊びの中でバランス感覚を養う運動を提供できた。</p> <p>2 エクササイズ教室の開催 令和3年度も3種類のエクササイズプランを、全115回開催し運動するきっかけづくりや、参加者同士の交流の機会を提供した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊事業参加者数 1,247 人 2 エクササイズ教室の開催参加者数 2,352 人</p>			

事業費名	アスリートスポーツ推進事業費	令和3年度 決算額	8,860,759円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 市外からのスポーツ合宿を誘致し、スポーツ施設の利活用を促進する。誘致した団体に遠野市をPRしスポーツ施設の充実を発信していく。</p> <p>2 遠野市スポーツ少年団、遠野市体育協会運営のほか、子どもたちを対象としたジュニアスポーツレベルアップ事業、東北大会、全国大会等への出場を支援し、子どもから大人まで幅広い世代のスポーツ活動を支援する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 スポーツ合宿誘致件数 5件</p> <p>2 市内文化、体育振興団体からの受賞者数 52件</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 合宿の誘致団体数は、当初3件の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1件のみとなった。プロサッカーチームが合宿を行い、市内のスポーツ施設を活用しトレーニングを実施できた。</p> <p>2 多くの大会は中止となっているが、新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、大会・事業を実施できた。</p> <p>また、サッカーでは元プロチームの監督を指導者として迎え、ジュニアのレベルアップを図った。野球や陸上競技では多くの子どもたちが活躍しコロナ禍にありながら市民に明るい話題を届けてくれた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 スポーツ合宿誘致件数 1件</p> <p>2 市内文化、体育振興団体からの受賞者数 47件</p>			

事業費名	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	令和3年度 決算額	1,704,598円	
令和4年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に「ホストタウン交流」、「共生社会の実現」に向けた取組を推進することで、大会に向けた機運の醸成を図るとともに、大会後のレガシー創出を図る。</p> <p>1 SNS等オンラインを活用したホストタウン交流事業</p> <p>2 「心のバリアフリー」の取組</p> <p>【計画値】</p> <p>1 パラリンピック競技5人制サッカー代表チームとのオンライン交流会 1回</p> <p>2 障がい理解教室の実施 6回</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大により事前合宿受入は中止となったがオンライン交流会やSNSを通じたメッセージ交流により、大会前だけでなく、大会中や大会後の交流を図った。</p> <p>2 パラリンピアンとの交流や障がいへの理解を深める場を提供することで「心のバリアフリー」の取組を推進した。</p> <p>また、遠野市共生社会実践事業者として新たに12事業者を認定し、心とまちのバリアフリー化の推進を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 パラリンピック競技5人制サッカー代表チームとのオンライン交流会 2回</p> <p>公式フェイスブックを活用した動画交流 9回</p> <p>2 障がい理解教室の実施 6回</p> <p>遠野市共生社会実践事業者新規認定事業者数 12事業者</p>			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	③ 食育の推進

施策の展開に係る全体総括	感染症対策のため、食育講座や講演会において密集を避けた人数制限及び対象を最小限の範囲に限定して開催するなど、食生活改善推進員と連携しながら活動を行った。また、オンラインでの講演や食育レシピカード集の作成など未来につながる事業を展開した。
課題	朝食を食べる小中学生の割合については、減少傾向にあることから食に関する正しい知識と朝食を摂ることの大切さについて全ての市民が自覚し、実行できるような支援と取り組みやすい環境づくりを引き続き行う必要がある。 さらに、近年共食や食体験の場が減少したことから食への興味感心の低下が懸念されるため、それらを回復する内容の検討が必要である。

事業費名	ばすぼる推進事業費	令和3年度 決算額	888,936円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 総合食育課 / 学校給食センター			
事業内容	<p>各年代に合わせた食育事業を通し、健康への理解や食文化の学びから、各々のQOL向上及び実践する力の糧となるよう情報発信や支援を行う。</p> <p>また、「第3次遠野市食育推進計画とおのっこプラン」の推進母体である「遠野市食育推進ネットワーク会議」を通して、市民へ食に関する情報発信を図り、健康意識の向上に寄与する。さらに、食育推進の共同体の健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の事務局として、組織の資質向上と市民への活動支援に努める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食を食べる小中学生の割合 95.0%</li> <li>※朝食から始まる健全な食生活の定着を図る。</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 各年代に合わせた食育講座や講演会は参加人数等を限定し、短時間での調理実習を含めた内容で料理をつくる力を育むことを目的とし、将来にわたり実践するための基礎を培った。</p> <p>また、母子保健の定期健診やパパママ教室開催に合わせ、子育て中の食育など、自身と子どもの将来につながる心と身体づくりの理解を深めた。</p> <p>2 市食育推進ネットワーク会議の構成団体が中心となって開催する「ばすぼる食育まつり」は、新型コロナウイルス感染症のため中止した。2回開催のネットワーク会議は、市内の食育関係団体が各々の活動を共有することで、食育活動の学びや活動意欲の向上につながった。さらに、食育月間の広報や食育標語コンクール等の周知など、委員の活動により市民周知の幅が広がった。</p> <p>3 食生活改善推進員の活動に必要な知識や技術向上のための支援を行い、スムーズな地域活動と衛生管理を徹底した調理実習の実践につながった。食育レシピカード集第2弾を製作したことで、各支部の意欲向上及び令和4年度以降の活動内容の幅が広がった。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食を食べる小中学生の割合 93.1% <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 小学校 96.6%、中学校 85.7%</li> </ul> </li> <li>食育講座・講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生 11回 109人、中学生 1回 470人、高校生 5回 202人、青壮年 1回 16人、高齢者 14回 257人</li> </ul> </li> <li>母子保健事業食指導 20回</li> <li>食育推進ネットワーク会議 2回</li> <li>食生活改善推進員の育成研修会 23回（延べ161人）</li> </ul>			

基本方針	5 子育て支援の推進
施策の方向	(1) 少子化対策・子育て支援
施策の展開	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ② 子育て支援の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>第2次遠野わらすっこプランに基づき、少子化対策・子育て支援施策の充実を図るため、子育て世代のニーズを踏まえた施策を推進した。</p> <p>病児等保育施設、児童館及び児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、子育てと就労等との両立の支援を図った。</p> <p>わらすっこ基金事業として、子どもが健やかに育つ環境づくりを普及・推進する活動団体に対する助成のほか、子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償とし、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、子育て施設ヘルパー派遣、児童館等衛生環境整備、保育施設等衛生環境整備・感染症対策の各事業を継続して実施し、子育て関連施設の衛生環境対策を図った。</p>
課題	<p>建物の老朽化が進んだ白岩児童館について、遠野北小学校エリアの環境整備による子どもの居場所づくりを推進するため、関係機関と連携し白岩保育園の改築、周辺市道の整備も含めた具体的検討を進める。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業は、地域での子育て支援体制を整備するために必要な会員を増やすため、更なる周知を図る。</p>

事業費名	看護保育安心サポート事業費	令和3年度 決算額	13,105,187円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」において病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を維持し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p> <p>【計画値】</p> <p>開設日数 240日 登録者数 200人 利用者数 500人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、保護者が安心して子どもを預けられる環境の充実を図った。</p> <p>病児等保育の需要は高く、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開設日数は減少したが、利用実績は昨年を上回った。</p> <p>【参考】</p> <p>1 平成30年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者延べ人数 623人（1日平均 2.59人）</p> <p>2 令和元年度（開設日数 240日） 登録者数 240人、年間利用者延べ人数 484人（1日平均 2.02人）</p> <p>3 令和2年度（開設日数 226日） 登録者数 121人、年間利用者延べ人数 196人（1日平均 0.87人）</p> <p>【実績値】</p> <p>開設日数 172日 登録者数 128人 利用者延べ人数 219人 利用者実数 56人 1日平均 1.27人</p>			



事業費名	わらすっこの居場所事業費	令和3年度 決算額	115,633,400円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館指定管理委託</li> <li>・放課後児童健全育成業務委託（児童クラブ運營業務委託）</li> <li>・児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金</li> </ul> <p>社会福祉法人遠野市保育協会に対し補助金を交付し、児童館及び児童クラブに勤務する職員の処遇改善を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館 7か所</li> <li>・児童クラブ 4か所</li> <li>・小学生利用登録率 80.0%</li> <li>・育成団体等運営費補助 11団体</li> <li>・保育士等処遇改善臨時特例補助 1団体</li> </ul>		評価	達成
取組・成果	<p>放課後等における児童の居場所づくりとして、社会福祉法人遠野市保育協会に児童館・児童クラブの管理運営を委託し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、発達段階に応じた遊びを提供し、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣等の健全育成を図った。</p> <p>児童館及び児童クラブの利用保護者会に対し、親子行事や遊びを通じた活動事業を支援するため補助金を交付した。</p> <p>社会福祉法人遠野市保育協会に対し補助金を交付することにより、児童館及び児童クラブに勤務する職員の処遇改善が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館 7か所</li> <li>・児童クラブ 4か所</li> <li>・小学生利用登録率 83.9%</li> <li>・育成団体等運営費補助 11団体</li> <li>・保育士等処遇改善臨時特例補助 1団体</li> </ul>			

事業費名	みんなで応援子育てのまち推進事業費	令和3年度 決算額	7,260,937円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 わらすっこプラン推進事業 第2次遠野市少子化対策・子ども・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。</li> <li>2 わらすっこ基金助成事業 地域社会で子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、遠野市わらすっこ基金を活用し助成金を交付する。 また、子どもたちの団体活動の促進と子育て支援を推進するため、部活動やスポーツ少年団活動に係る市の施設使用料について、わらすっこ基金を活用し無償化する。</li> <li>3 わらすっこ応援券交付事業 出生した児童の保護者に遠野産材で作成した写真立てと予防接種費用や一時保育などの支払いに使うことができる1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</li> </ol> <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 わらすっこ条例応援認定事業者 1事業者</li> <li>2 わらすっこ基金助成金交付 4団体 施設使用料サポート事業助成金交付 29団体</li> <li>3 写真立て等贈呈人数 150人</li> </ol>		評価	概ね達成

取組・成果	<p>1 わらすっこプラン推進事業 地域全体で子育てを応援する環境づくりとして、子育て支援を積極的に実施している事業所をわらすっこ条例応援事業者として認定するとともに毎月、遠野テレビや広報で子育て関連事業の周知を図った。</p> <p>2 わらすっこ基金助成事業 活動団体に助成金を交付することにより、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動の普及・推進を図った。 子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償化することにより、子どもの活躍をみんなで応援し、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。</p> <p>3 わらすっこ応援券交付事業 写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈することにより、市民が子育てを応援していることを伝えるとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 わらすっこ条例応援認定事業者 2事業者 2 わらすっこ基金助成金交付 1団体 施設使用料サポート事業助成金交付 33団体 3 写真立て等贈呈人数 115人</p>
-------	---

事業費名	ファミリー・サポート・センター推進事業費	令和3年度 決算額	2,509,928円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>育児を援助したい人（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、子育てをする者が安心して働くことができる環境を整備するとともに、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制をつくる。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>1 年間依頼件数 100件 2 講習会（9科目） 24時間 3 交流会 1回</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域で子どもを育てる相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。 おねがい会員が安心して援助活動を依頼することができるよう、まかせて会員のスキルアップ講習会を開催した。また、両会員の親睦や情報交換の場として開催予定の交流会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>1 年間依頼件数 94件 2 講習会（9科目） 24時間 3 交流会 0回</p>			

事業費名	未来へつなぐこども家庭支援事業費	令和3年度 決算額	6,853,492円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>平成31年4月より「子ども家庭総合支援拠点」を設置した。妊産婦及び子どもの福祉に関し、実情の把握、情報の提供、家庭等の相談に応じ、福祉、保健・医療、教育等の関係機関と連携し、子どもやその保護者に寄り添いながら、家事支援、専門的相談等必要な支援につなげ、児童虐待の発生防止を図ることを目的とする。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <p>遠野市要保護児童対策地域協議会の開催 4回 児童虐待防止推進の周知オレンジリボン配布 1回</p>	評価	達成	

取組・成果	<p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議を1回、実務者会議を4回開催し、要保護児童への支援について進行管理を行った。 令和2年度からの継続43件、令和3年度新規25件、終結12件。</p> <p>2 児童虐待相談 447件、障がい・育成相談78件、女性相談 295件対応。 ケースの支援計画を基に継続して関わり、解決に向けて支援した。</p> <p>3 児童虐待防止・DV防止推進月間に合わせ、オレンジリボン、パープルリボンを市民へ配布し周知を図った。 市内保育園・幼稚園の園児へ、児童虐待防止メッセージ入り花の種を配布し、家庭への児童虐待防止について周知を図った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野市要保護児童対策地域協議会の開催 4回</li> <li>児童虐待防止推進の周知オレンジリボン配布 1回</li> </ul>		
-------	---	--	--

事業費名	児童館施設整備事業費	令和3年度 決算額	15,340,600円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	土淵地区センターに併設した土淵児童クラブについて、本体建物の改修工事と併せて改修することにより、放課後等における子どもの居場所環境の充実を図る。		評価	達成
取組・成果	<p>活動室、トイレ、照明、空調設備等の改修により、放課後等における子どもの居場所環境の充実が図られた。</p> <p>【計画値】 土淵児童クラブ改修工事 1式</p> <p>【実績値】 土淵児童クラブ改修工事 1式</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (子育て施設訪問支援)	令和3年度 決算額	1,912,183円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	保育園及び児童館等の施設の環境整備（遊具や施設内の消毒など）を行い、利用する子どもたちの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び施設職員の業務負担軽減を図る。		評価	達成
取組・成果	<p>消毒作業の実施により施設の衛生的な環境を維持するとともに、施設職員が本来業務に専念することができ、業務負担軽減が図られた。</p> <p>【計画値】 対象施設 28カ所</p> <p>【実績値】 対象施設 28カ所</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (保育施設等感染症対策)	令和3年度 決算額	2,831,312円	
令和4年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	保育園及び児童館等において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、継続的なサービスの提供を行うため、感染拡大防止対策として必要な物品を配布し、施設設置者の支援を図る。		評価	達成
取組・成果	<p>接触機会の軽減や適切な衛生環境を保つため、手指用消毒アルコール等の消耗品を配布し、施設設置者への支援を図った。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 保育所等 14園</li> <li>2 児童館・児童クラブ 11施設</li> <li>3 子育て支援拠点事業等 5事業</li> </ul>			

## IV 外部評価の実施

令和5年2月15日（水）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（令和3年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、15ページから55ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

### 【外部評価員】

(敬称略)

氏名	役職
新井野 邦夫	遠野市校長会（遠野西中学校長）
佐々木 謙	遠野東中学校区学校運営協議会 会長 青笹地区地域教育協議会 会長
菊池 享	社会福祉法人遠野市保育協会 常務理事
菊地 セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会 会長
多田 宜史	遠野市PTA連合会 会長

### 【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
全体	全般に関して (佐々木謙評価員)	<p>● 道徳の教科書の採択に関して</p> <p>▶ 岸田袈裟さんの功績が掲載されている道徳の教科書があるが、当市の学校で使用している道徳の教科書には、掲載されていない。遠野の子ども達に岸田さんの功績を知ってもらうためにも掲載されている教科書を採用できないか。</p> <p>▷ 遠野市に関することが載っている教科書を採用したい思いはあるが、教科書採択は広域で行っており難しい部分もある。日本教育会遠野地区会で発行した「遠野の先人」に掲載されているので、そういった図書を活用していきたい。</p>
全体	全般に関して (新井野邦夫評価員)	<p>● 教科書の採択について</p> <p>▶ 電子教科書が導入されてきているが、小学校と中学校において教科書の会社が違うため、使用方法が異なる部分もある。教科書の電子化も見据え、採択の判断材料としてはどうか。</p> <p>▷ 電子化といった部分では、教科書にQRコードが載っているといった部分も採択の判断材料となっている。今後の参考とさせていただきます。</p>
18	体育・文化行事奨励事業 (多田宜史評価員)	<p>● 部活動においての上位大会の市の助成について</p> <p>▶ 部活動で東北大会や全国大会に参加する場合の市の助成について伺いたい。</p> <p>▷ 補助金交付要綱で9/10または、10/10を助成することとしている。</p> <p>▶ 要綱に定められた助成を市からいただいているが足りない場合がある。特に外部コーチ等の費用は対象となっていないので負担が大きい。義務教育であるので、保護者等の負担とならないよう検討いただきたい。(意見)</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
18	体育・文化行事奨励事業費 (新井野邦夫評価員)	<p>● <b>児童生徒文集について</b></p> <p>▶ 「生徒文集遠野」が活用されているか確認したい。また、「遠野の先人」も学校内で活用されていなかった。良い図書であるので有益に活用していただきたい。</p> <p>▷ 毎年度末に各校に配付しているが、活用状況については確認していない。活用されるようアプローチしていきたい。</p>
18	全体総括〈教育内容の充実〉 (菊池享評価員)	<p>● <b>学力向上に関する新型コロナウイルス感染症の影響について</b></p> <p>▶ 学校においては、新型コロナウイルス感染症により、学習環境の確保が難しかったと思うが、どのように確保されたのか。取組みを伺いたい。</p> <p>▷ 断続的に登校ができない時期もあったが、一人一台端末を活用し、授業内容を配信した学校や年間の授業時間数を年度内に終えるよう一日の授業時間数を増やすなどの工夫があった。全く影響がなかったとは言えないが、学校毎に工夫しながら対応いただいた。</p> <p>▶ 授業の配信について、全ての家庭にオンライン環境が備わっていないと思われるが、そのような家庭にはどう対応したか。</p> <p>▷ Wi-Fiルーターの貸し出しやオフライン環境でも使用できるドリルソフトを活用した。</p>
19	魅力ある学校づくり事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>「夢の教室」について</b></p> <p>▶ 「夢の教室」の事業は、サッカー選手の講師から始まったと記憶しているがサッカー以外の種目もやっているか。</p> <p>▶ サッカーに限らず広く取り組んでいただきたい。</p> <p>▷ 日本サッカー協会が窓口となり行われている。サッカーのほか、バレーボール、キックボクシングなど様々な種目のアスリートの方に来ていただいている。</p>
20	特別支援教育推進事業費 (新井野邦夫評価員)	<p>● <b>特別支援教育支援員について</b></p> <p>▶ 学校現場において、特別支援教育支援員の配置は非常に助かっており、支援が必要な子はもとより、それ以外の子ども達も見ている。引き続き配置をお願いしたい。(意見)</p>
21	学力向上対策事業費 (菊地セツ子評価員)	<p>● <b>教育相談員の役割について</b></p> <p>▶ 教育相談員はどのようなことを行っているか伺いたい。</p> <p>▷ 4名配置しており1名は教育委員会、3名は各中学校に配置している。不登校や別室登校のこども達の対応を行っている。</p>
21	学力向上対策事業費 (多田宜史評価員)	<p>● <b>学力向上対策の指標について</b></p> <p>▶ 学力向上対策事業の目標値は、まちづくり指標に掲載されている学力偏差値を記載した方がわかりやすいと思うが。</p> <p>▷ 記載方法は、今後検討させていただく。</p> <p>▶ 昨年度の会議でもお話したが、いじめ、不登校対策についての記載がない。予算が無い取組であっても、取組内容を記載してはどうか。</p> <p>▷ いじめ、不登校対策については、「2 教育相談」に含まれている取組である。「いじめ・不登校対策」といった言葉は記載していないので、今後明示するよう検討したい。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
21	学力向上対策事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>社会の学力低下について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ まちづくり指標実績の小学校標準学力検査偏差値において、「特にも社会が全国標準との差が大きい」という部分が気になった。バランスの取れた教科指導を行っていただきたい。</li> <li>▷ 国語と算数は比較的良い結果であるが、理科、社会が全国平均を下回っている。国語と算数は各校における指導法の研究が進んできているところも要因にあると考えている。</li> <li>▶ 社会科副読本は、現在、Webの閲覧のみと聞いたが。</li> <li>▷ 社会科副読本は、現在も製本し、配付している。</li> </ul>
21	学力向上対策事業費 (菊池享評価員)	<p>● <b>中学校の学力低下について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ まちづくり指標実績の中学校標準学力偏差値について、中学校は以前から低い結果となっているが、その要因について伺う。</li> <li>▷ 過去5年間の標準学力偏差値を比較すると横ばいの状況である。中学校は部活動もあるため、家庭学習の時間が十分に確保できていないことも一因と考える。家庭学習の充実に向け取り組んでいきたい。</li> </ul>
22	特定教科集中対策事業費 (新井野邦夫評価員)	<p>● <b>特定教科学習支援員の配置について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特定教科学習支援員の配置は非常に助かった。長期に休んだ生徒も授業の遅れを取り戻せた。来年度も引き続き配置をお願いしたい。(意見)</li> </ul>
22	特定教科集中対策事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>実用英語検定の受験者について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 英語検定の受験料の補助はどのくらい補助しているのか。また、検定を受ける生徒の割合はどのくらいか。</li> <li>▷ どの級を受験しても年1回に限り全額を補助しており、3年生の第2学期に行っている。1、2年生においては、英検1BAを行い、各生徒の実力を確認している。英検3級以上の実力を持っている生徒は、本市の中学3年生において43%となっている。</li> </ul>
22	特定教科集中対策事業費 (多田宜史評価員)	<p>● <b>特定教科集中対策事業の「概ね達成」の理由について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特定教科集中対策事業の評価が、「概ね達成」となっているが、実用英語検定受験者が計画値を超えていないので概ね達成としたのか。</li> <li>▷ 外国語指導助手の派遣回数と実用英語検定の受験者が計画値を下回ったことから「概ね達成」とした。外国語指導助手については、コロナ感染症の影響で入国できないといった理由もあった。</li> <li>▶ まちづくり指標の実績を見ると、英語については全国平均を下回っている。英語検定への補助は実に良い制度だと思うので、活用されるようすすめていただきたい。(意見)</li> </ul>
25	全体総括(教育環境の充実) (多田宜史評価員)	<p>● <b>タブレット端末機器の操作研修等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 先生方に対しタブレット端末等の研修は行っているか。</li> <li>▷ 要望があった場合、研修ができるよう対応している。</li> <li>▶ 子ども達が使用しているタブレット端末において、必要なサイトが見られない場合や見る必要のないサイトが見られる場合がある。フィルタリングがうまく機能していないのではないか。</li> <li>▷ フィルタリングの設定について確認する。</li> </ul>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
28	通学対策費（中学校） （多田宜史評価員）	<p>● <b>スクールバスの管理について</b></p> <p>▶ 中学校の部活動でスクールバスを利用した際にバスが故障したことがある。管理は適切に行われているか確認したい。</p> <p>▷ スクールバスについては、定期的に更新を行い、整備についても毎年適切に行っている。今後も車両の管理に万全を期す。</p>
30	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【スクール・サポート・スタッフ配置】 （新井野邦夫評価員）	<p>● <b>スクール・サポート・スタッフの配置について</b></p> <p>▶ スクール・サポート・スタッフの配置は、学校現場で非常に助かっており、消毒作業のほか幅広く対応いただいている。働き方改革の面からも来年度以降も継続していただきたい（意見）</p>
32	学校給食事業費 （菊池享評価員）	<p>● <b>新型コロナウイルス感染症に伴う学校給食への影響について</b></p> <p>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、「業者の業務停止など～」と記載があるが、業務停止とはどのようなことがあったのか。</p> <p>▷ 当市の調理・配送でおきたことではなく、納入業者など全国的に起こった事柄を記載した。当市においては、受託業者の企業努力により業務停止することなく給食を提供できた。</p>
34	高校魅力化サポート事業費 （多田宜史評価員）	<p>● <b>計画値について</b></p> <p>▶ 計画値が遠野緑峰高校情報処理科への入学者数となっているが情報処理科としている理由を伺いたい。遠野緑峰高校全体の入学者数でも良いのではないか。</p> <p>▷ 高校魅力化アクションプランを作成した時の目標数値を記載しているため情報処理科の入学者数としている。市長部局とも連携し入学者確保に向けて取り組んでいきたい。</p>
36	学びのまちづくり推進事業費 （新井野邦夫評価員）	<p>● <b>コミュニティ・スクール（CS）の研修について</b></p> <p>▶ CSの会議等において、地域の方は「熟議」がCSだと思われる方が多く、それについて説明しなければならない時がある。CSの研修等において、熟議の位置づけについて説明をいただきたい。</p> <p>▷ 制度として難しいものであるため、理解が進まない部分もあった。制度周知と見つかった課題の解決に向けて、試行錯誤しながら取り組んでいきたい。</p>
36	学びのまちづくり推進事業費 （佐々木謙評価員）	<p>● <b>コミュニティ・スクール（CS）について</b></p> <p>▶ 令和3年度の研修会において、秋田からいらっしゃった講師のお話を伺った。当時は、熟議の役割やCSと地域教育協議会の線引きなどわからないことが多かった。令和4年度から実際に動き出して理解してきた。CSが良い形で進むことを願う。（意見）</p>
36	学びのまちづくり推進事業費 （多田宜史評価員）	<p>● <b>CSの「かわらばん」、会議の公開について</b></p> <p>▶ CSの「かわらばん」については、特定の方しか読んでいない印象を持っている。地域の方々が知りたい情報でもあるので広報と一緒に配布してはどうか。</p> <p>▷ 広報等への掲載も検討していきたい。</p> <p>▶ CSの会議は公開を基本としていると思うが、開催日時が関係者しか知らされていない。初年度なので公開しないという気持ちも分かるが、CSの主旨を考えれば広く公開するべきと思う。</p> <p>▷ 開催日程の変更が度々あるので、公開についてはもう少し検討したい。込み入った話や話づらい内容もあることから、それらを含めて公開について検討していきたい。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
36	学びのまちづくり推進 事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>CSの会議の公開について</b></p> <p>▶ CSは始まったばかりであるので、会議を公開するのはまだ早いのではないかと思う。大部分は公開で良いと思うが、人事案件の場合は非公開にするべき要素もある。 コーディネーターには非常に働いていただいております。大変感謝している。(意見)</p>
36	学びのまちづくり推進 事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>家庭教育ゼミナールの受講者数について</b></p> <p>▶ 家庭教育ゼミナールの受講者数は、大人の参加人数か。 ▷ 大人と子どもを含めた人数である。 ▶ 保護者も忙しいため、なかなか集まらない状況にある。子ども達を対象とした内容のものは、子どもが先に集まり、後から保護者が参加するといった工夫も行っている。行きたくなるようなPRも必要かと思う。(意見)</p>
36	学びのまちづくり推進 事業費 (新井野邦夫評価員)	<p>● <b>家庭教育ゼミナールの受講対象について</b></p> <p>▶ 遠野西中学校では、子どもと保護者を対象に実施している。保護者のみを対象としても良いのか。そういった内容の情報提供をしてほしい。 ▷ テーマにより対象者が変わってくると思われる。情報については、毎年度、校長会議において提供している。</p>
41	図書館費 (多田宜史評価員)	<p>● <b>図書館の利用者登録率等について</b></p> <p>▶ 令和2年度までは、利用者登録数であったが、令和3年度から利用者登録率になり非常にわかりやすくなったと思う。登録率の分母は遠野市民の人数か。 ▷ 分母は市民の人数となっている。ただし、登録者には市民以外の方もいる。 ▶ 本を返却すると図書の出借履歴が消えると聞いた。利用された方の貸出履歴をビッグデータ化し、市民が借りたい本を揃えてみてはどうか。 ▷ 個人の思想に関わるので各個人の履歴は残していないが、借りられた本の情報は蓄積している。貸出傾向を分析しながら図書の整備を行っている。</p>
41	図書館費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>図書の貸出冊数、学校司書の配置について</b></p> <p>▶ 図書の貸出冊数については、子どもも含まれているか。 ▷ 含まれている。 ▶ 学校司書の配置について検討したことはあるか。市の図書館司書が学校図書館の相談に乗るといった連携があっても良いと考える。 ▷ 司書教諭については基準に基づき配置しているが、学校司書は配置していない。小学校では図書ボランティアに協力をいただいている場合もある。国でも新しい図書館整備計画を策定しており、今後の検討課題になると考えている。 市立図書館と学校図書館については、あまり関わりがなかったが、CSで話題となった。今年度は小学校にアンケート調査を行い、図書ボランティアの有無の確認を行った。ボランティアへの研修も行っており、来年度以降、CSと合わせて取り組みを強化していきたい。</p>



評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
42	文化財調査保護費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>郷土芸能の伝承活動について</b></p> <p>▶ 郷土芸能の伝承については、学校運営協議会の中でも話題になっている。伝承活動は、学校における取り組みが非常に重要であるが、コロナ禍においては、なかなか人を集めづらいという状況であった。5年、10年後を見据えた郷土芸能の保存の方法を考えていく必要があると感じる。</p> <p>▷ 令和5年度に郷土芸能協議会が取り組む新規事業を予定している。</p>
45	遠野遺産認定事業費 (多田宜史評価員)	<p>● <b>市ホームページの遠野遺産リストについて</b></p> <p>▶ まちづくり指標において、遠野遺産リストへのアクセス数が予想を大幅に上回ったと記載されているが、その要因は何か。</p> <p>▷ 担当課としては、アクセス数が上回った要因がよく分からないのが正直なところである。博物館の企画展や山里ネットにPRをいただいたので、それにより増加したのも一つの要因と考えている。</p> <p>▶ Google map を利用し、遠野遺産の位置が地図上に表示されるようになり、非常に良くなったと思う。遠野遺産の位置が全て表示されるようになると更に見やすくなると思う。</p> <p>▷ 確認し、全て表示ができるようであれば、前向きに検討する。</p>
47	こども本の森構想推進 事業費 (佐々木謙評価員)	<p>● <b>こども本の森遠野の送迎バスについて</b></p> <p>▶ 青笹小学校において、こども本の森遠野を利用するにあたり、送迎バスを出していただいた。その送迎バスが廃車になると聞いたが、利用促進のためにもバスを廃止しないでいただきたい。</p> <p>▷ 市で所有するバスの老朽化に伴い廃車するもの。代わりに業者所有のバスを借りるため、来年度に予算を増額し従来通りの利用体制を確保する。</p>
55	新型コロナウイルス感染症 予防対策事業費 [保育施設等感染症対策] (菊池享評価員)	<p>● <b>消毒物品等の支援について</b></p> <p>▶ 保育園の感染症対策にあたり、消毒物品等を支援いただき非常に助かっている。学校同様に今後も支援をお願いしたい。(意見)</p>
全体	全般に関して (多田宜史評価員)	<p>● <b>子育て家庭ヘルパー派遣事業について</b></p> <p>▶ 令和2年度に「子育て家庭ヘルパー派遣事業」があったが、令和3年度は記載されていない。良い事業だったと記憶しているが事業が無くなったのか。</p> <p>▷ 令和2年度事業「子育て家庭ヘルパー派遣事業」については、厚生労働省の事業見直しに伴い、「未来へつなぐこども家庭支援事業」に集約され、令和3年度以降も継続実施されている。実施件数については、育成相談と女性相談が分散され、令和2年度と同様の把握は困難である。なお、必要に応じ家事支援を行っている。</p>